

国内旅行・海外旅行・インバウンドの市場動向 — 当財団の独自調査より —

観光研究部
上席主任研究員
菅野 正洋



1 日本人旅行者の動向・意識（JTBF旅行実態調査・JTBF旅行意識調査 より）

1-1 国内旅行

1-2 海外旅行

2 インバウンド市場の動向・意識（DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 より）

2-1 海外旅行の予定・検討状況

2-2 次に海外旅行したい国・地域

2-3 訪日旅行希望者・経験者の意向

3 まとめ

1 | 日本人旅行者の動向・意識

調査概要（JTBF旅行実態調査・JTBF旅行意識調査）

調査名	JTBF旅行実態調査		JTBF旅行意識調査
	全体調査	トリップ調査 国内宿泊観光旅行、海外観光旅行	
調査項目	主に、旅行の内容		主に、旅行に対する意識
調査対象	全国16～79歳の男女 調査会社のパネルより抽出*2		全国18～79歳の男女 調査会社のパネルより抽出*3
	—	期間中に観光・レクリエーション旅行を実施した人	
調査方法	ウェブ調査		郵送自記式調査
調査時期	毎四半期（4-5月／7月／10月／1月）		年1回（5月） ※2020～2022年は12月も追加実施
標本の大きさ（人）／ トリップ数（件）	各回 50,000 ※2022年のみ各回 20,000	各回 約1,000／1,400程度 ※国内宿泊観光旅行の場合*1	1,400程度／回

*1：コロナ禍においては海外観光旅行実施票を十分に得られていない。

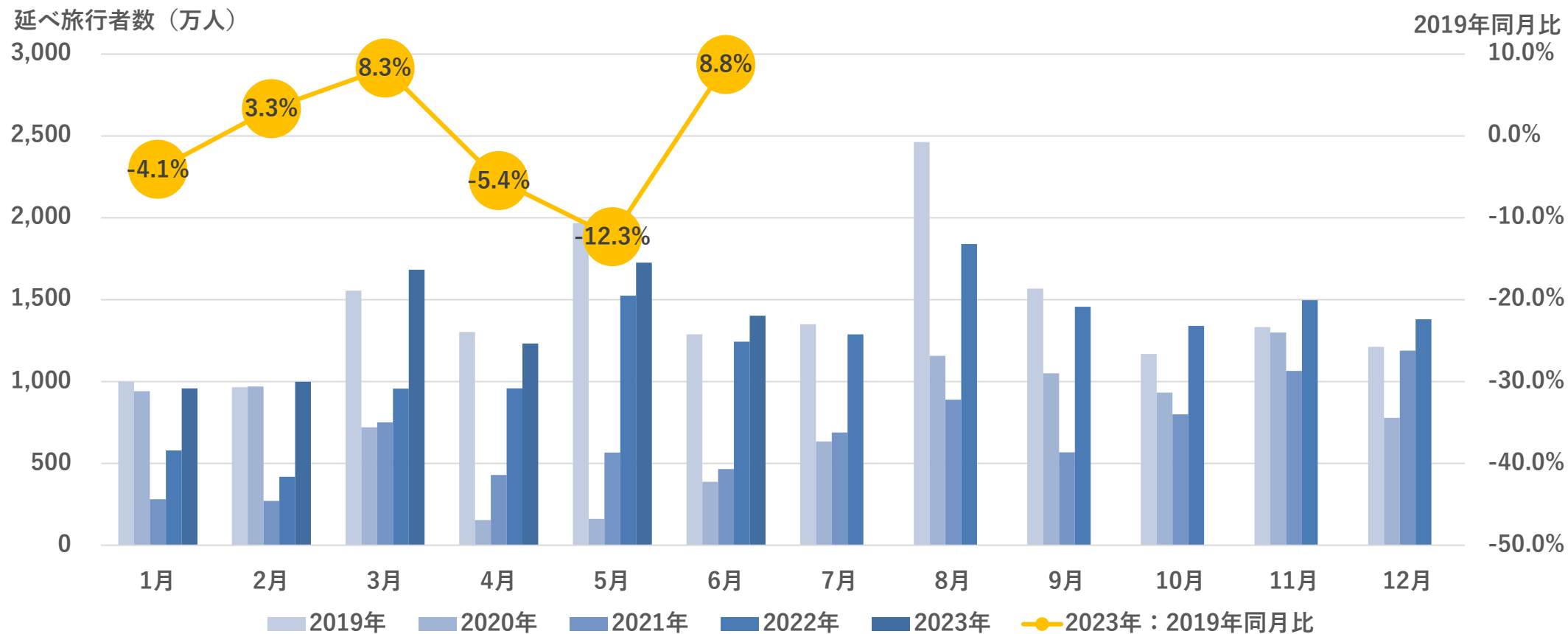
*2：国勢調査時の人口（地域・性別・年代）をベースに、調査会社のモニターを割り当てた。

*3：国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出して個人を割り当てた。

1-1 | 国内旅行の動向・意識

旅行者数はコロナ禍以前と概ね同等の水準まで回復

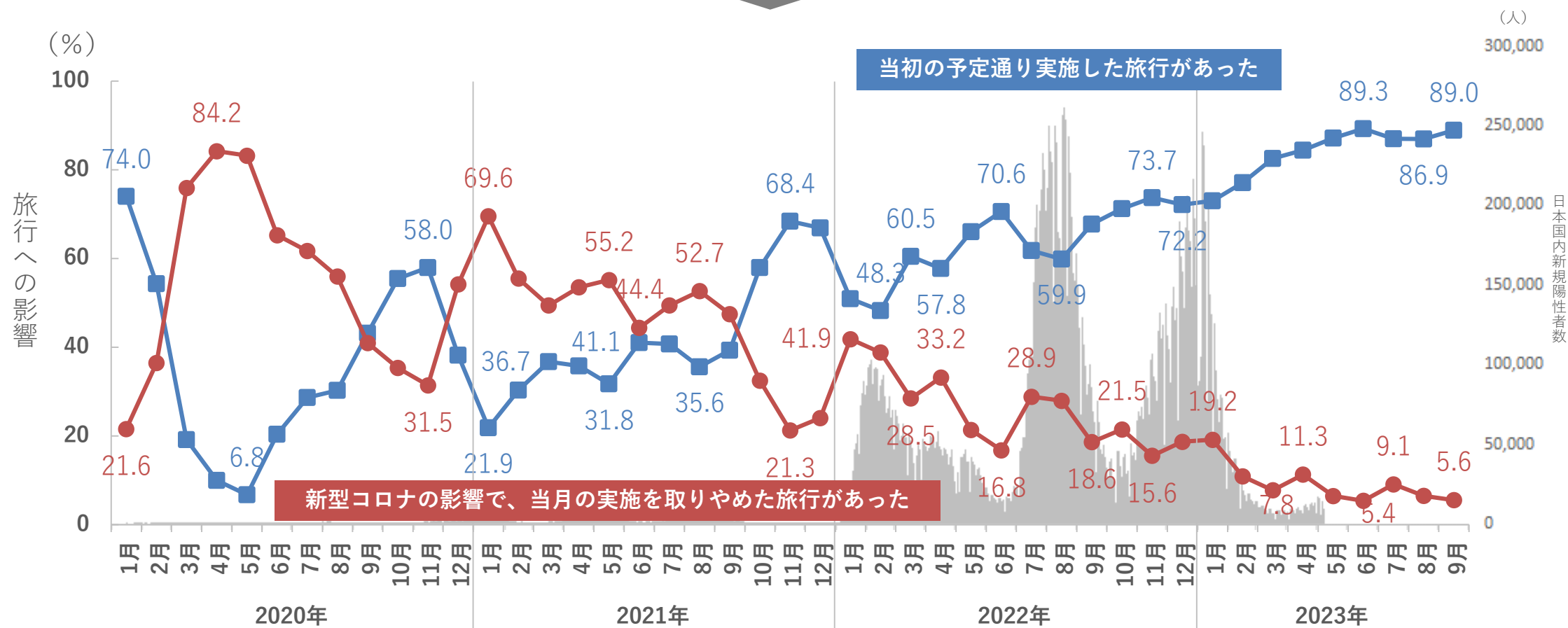
月別国内宿泊観光・レクリエーション延べ旅行者数



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」より作成

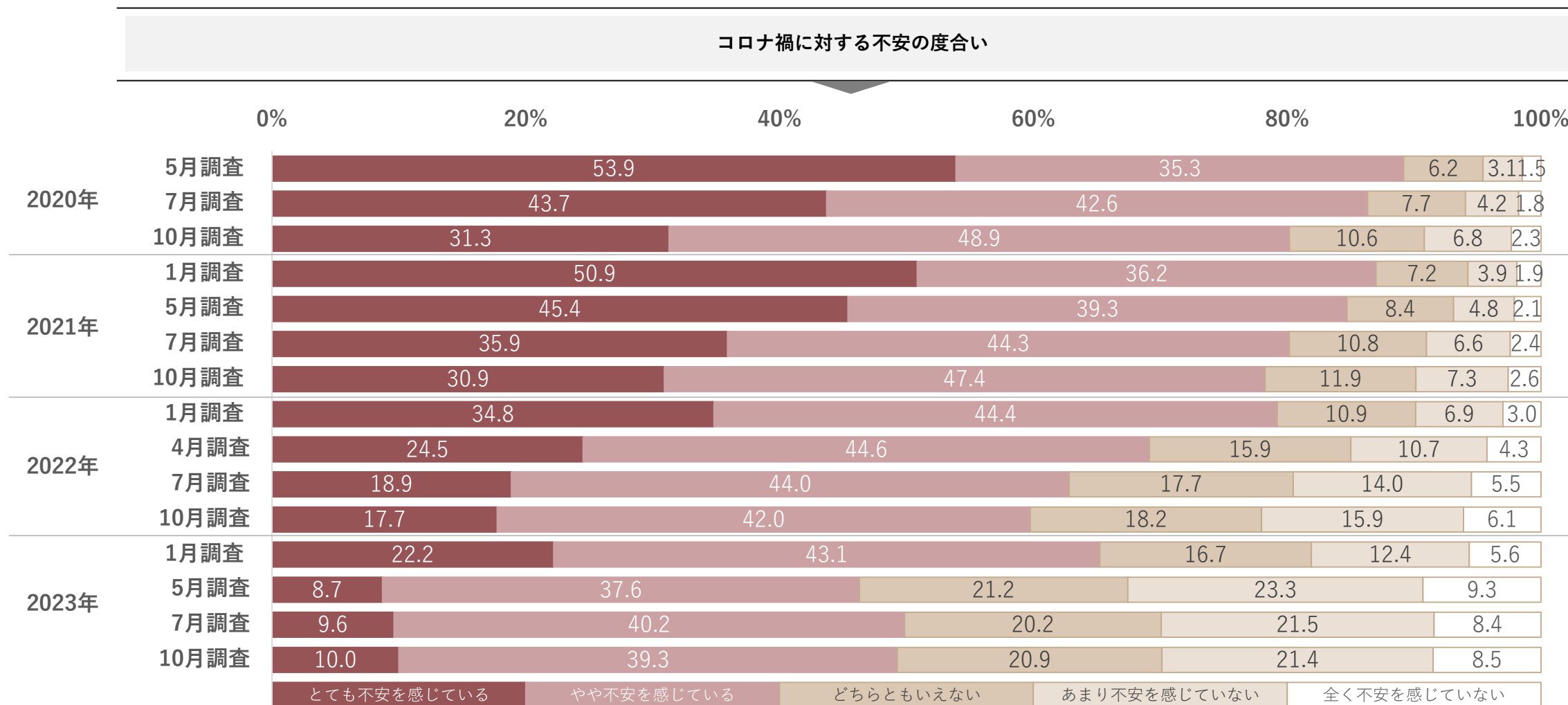
国内旅行の実施に対するコロナ禍の影響はほぼ解消

コロナ影響化における国内観光・レクリエーション旅行への影響（日帰り含む・旅行を計画していた人のみ）【複数回答】



出典：（旅行への影響）JTBF旅行実態調査／（日本国内新規陽性者数）厚生労働省資料
 ※日本国内新規陽性者数は2023年5月8日以降はデータなし

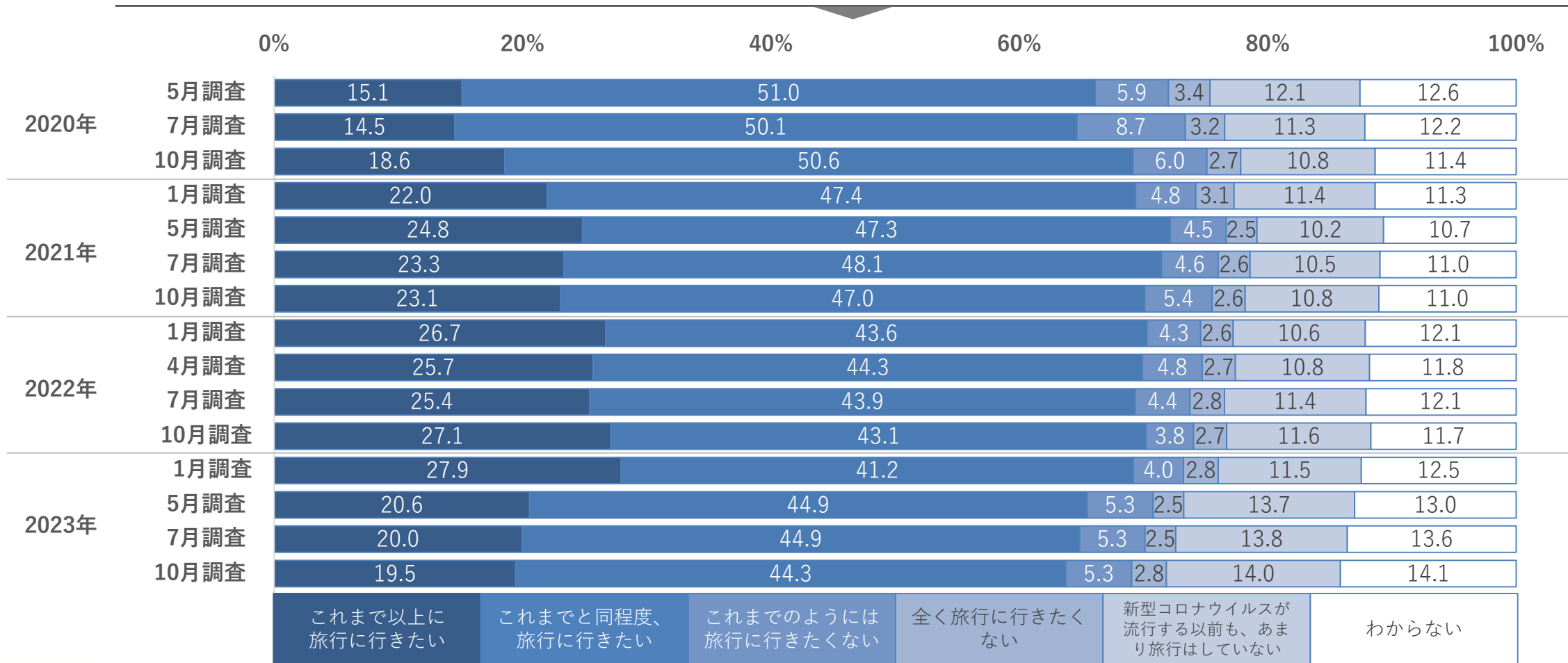
コロナの「5類への移行」以後、不安を感じない割合が大幅に増加 ただし、依然として半数は不安を感じている状況



出典：JTBF旅行実態調査

旅行意向は高止まりの傾向、リベンジ消費としての旅行はひと段落か 一方で「わからない」が徐々に増加傾向にあり、「旅行への親しみ」が薄れている可能性も

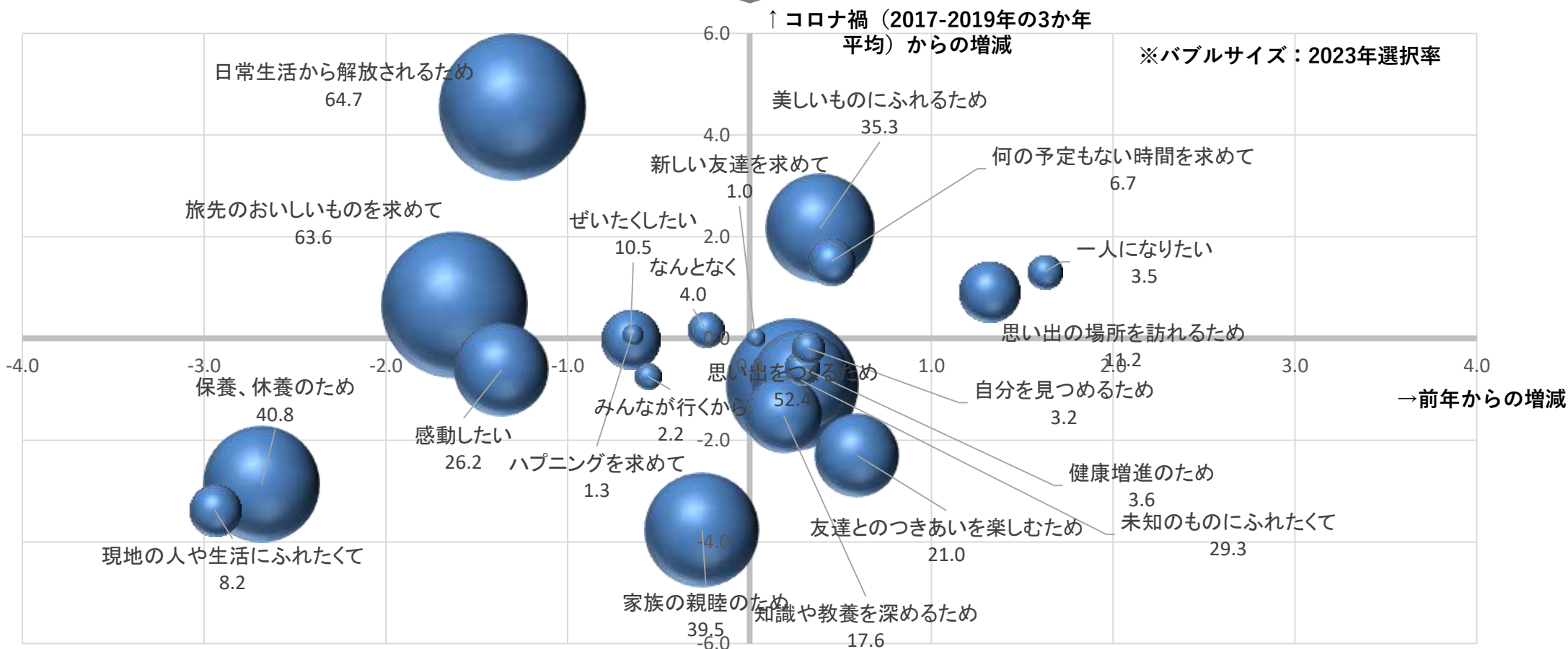
新型コロナウイルス収束後の旅行意向



出典：JTBF旅行実態調査

「日常生活からの解放」が最大の旅行動機 コロナ禍以前と比較して選択率が高い状態が継続

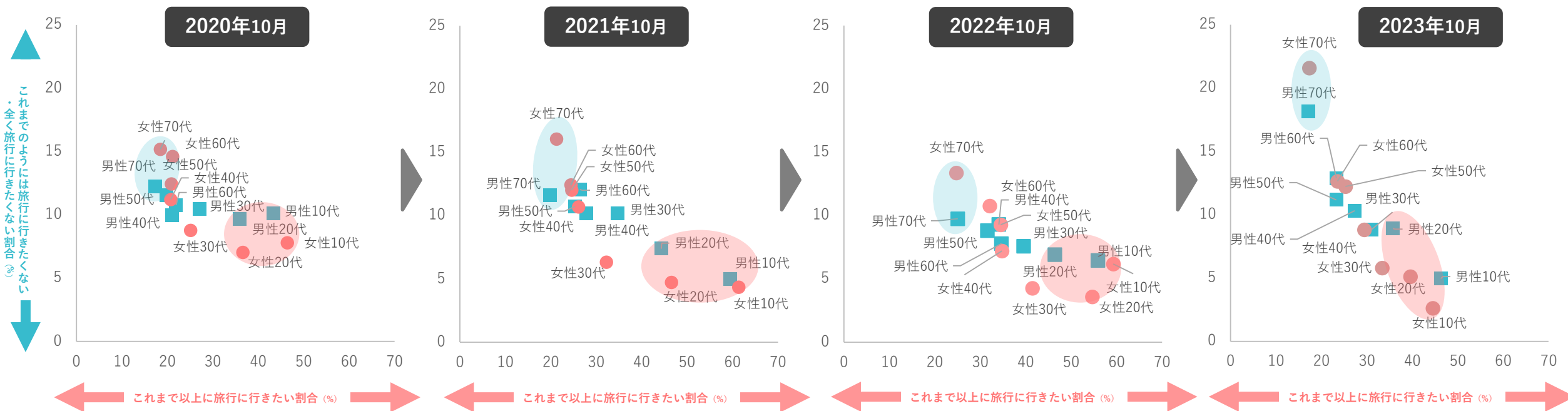
観光・旅行レクリエーション旅行の動機



出典：JTBF旅行意識調査

70代で「これまでのように/全く旅行に行きたくない」の割合が増加 10~20代で「これまで以上に行きたい」の割合が低下、リベンジ消費の落ち着きが影響か

新型コロナウイルス収束後の旅行意向（性・年代別）



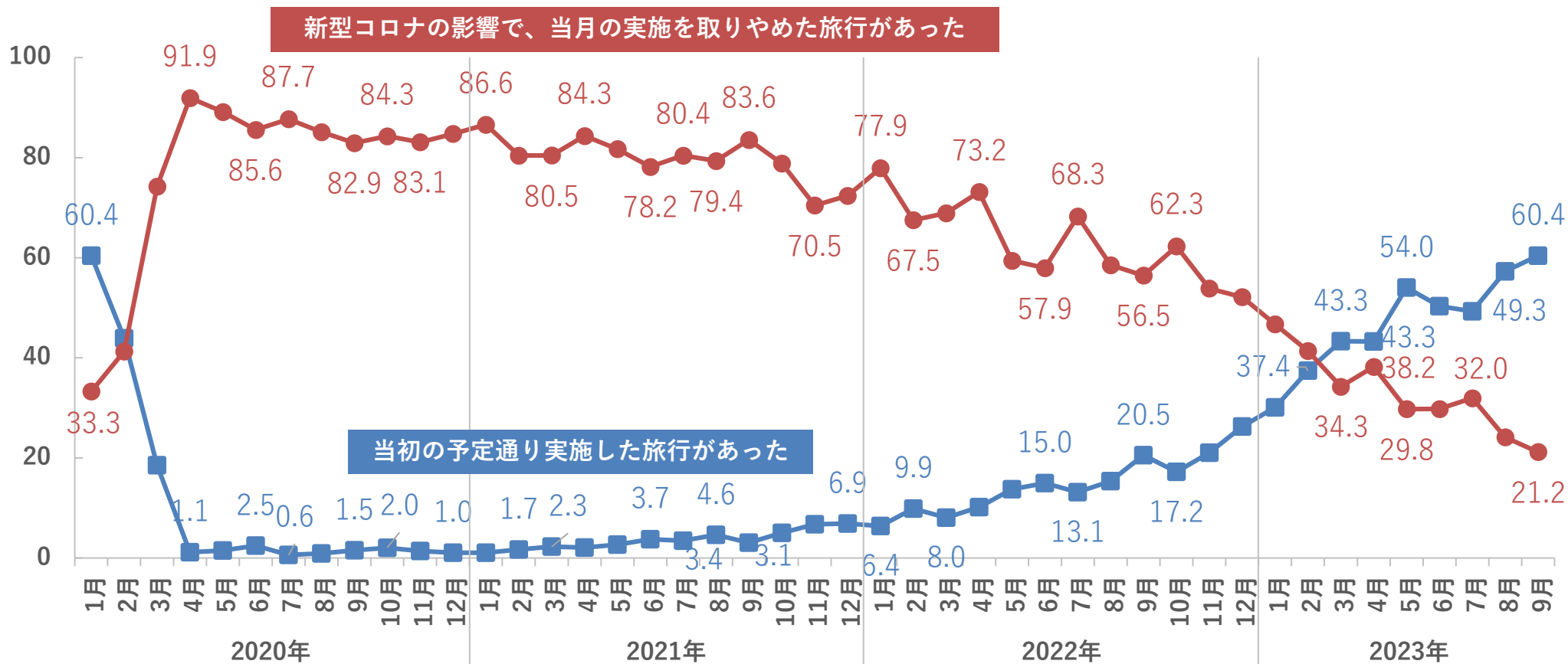
※ 「コロナ以前もあまり旅行をしていない」「わからない」を除く

出典：JTBF旅行実態調査

1-2 | 海外旅行の動向・意識

海外旅行の実施に対するコロナ禍の影響は依然として残る

コロナ影響化における海外観光・レクリエーション旅行への影響（旅行を計画していた人のみ）【複数回答】

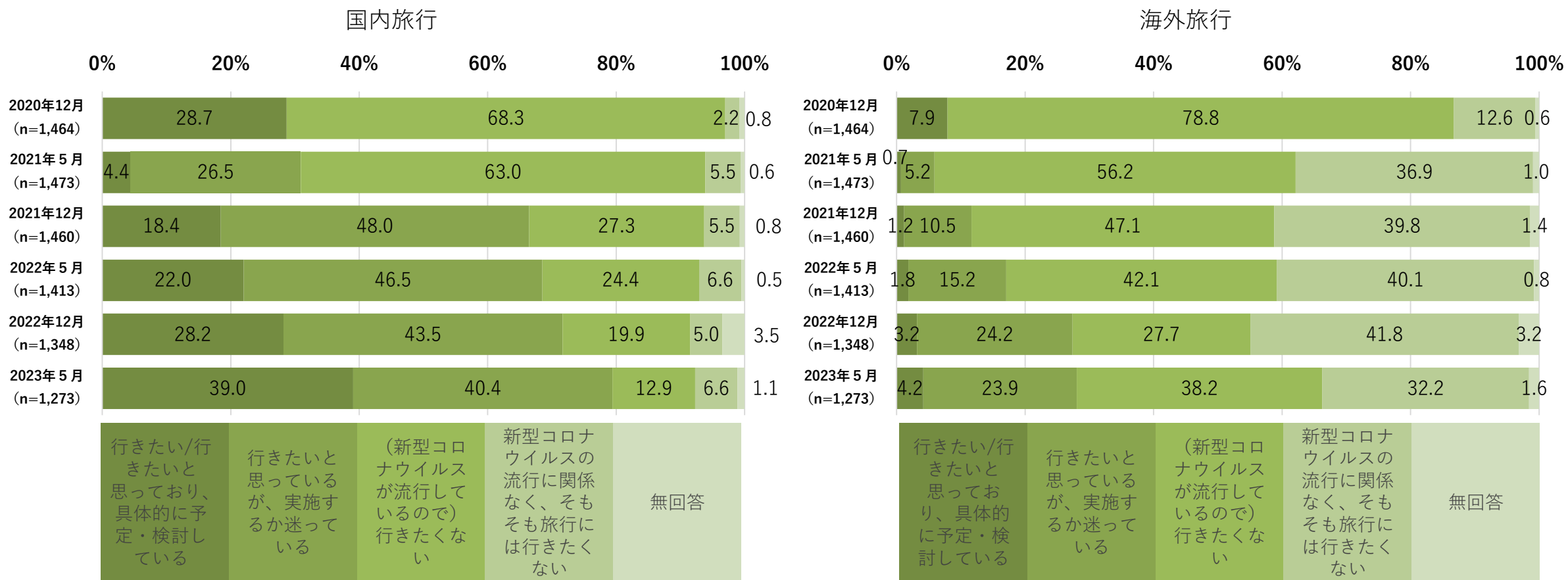


出典：JTBF旅行実態調査

国内旅行は予定・検討段階が4割

対して、海外旅行の予定・検討段階の割合は徐々に高まりつつもいまだ低水準

コロナ禍における旅行意向



※ 2020年12月は「行きたい」のみ、2021年5月以降は「行きたいと思っており、具体的に予定・検討している」と「行きたいと思っているが、実施するか迷っている」の2つの選択肢を設けて調査を行った。

海外旅行に行きたくない/実施を迷う理由は、全体では円安や物価高の影響が大きい コロナの影響は大幅減少の様相

海外の観光レクリエーション旅行に行きたくない/実施を迷っている理由

	22年7月	10月	23年1月	5月	7月	10月
円安や世界的な物価高の影響による割高感	46.0	60.5	55.0	40.7	42.6	46.8
経済的に海外旅行ができる余裕がない／（コロナの影響で仕事・収入が減少し）節約したい	7.8	8.5	9.4	25.3	24.2	24.2
海外旅行をするための日程の確保が難しいから	-	-	-	24.9	24.9	23.4
新型コロナウイルスの感染が不安	41.6	43.5	48.7	20.7	22.9	19.6
旅行先での公衆衛生／安全性が不安	29.4	38.8	38.5	20.4	21.1	19.5
海外旅行より国内旅行の方が好きだから	-	-	-	16.5	15.9	16.5
渡航先入国時の対応が面倒（観光ビザの発給手続き、陰性・ワクチン接種証明書発行など）	35.1	36.3	36.2	16.9	16.7	14.4
ウクライナ情勢などの影響で安全に旅行できるかが不安	19.7	22.2	21.9	17.4	17.3	14.3
航空券や宿泊施設の予約が面倒	-	-	-	10.0	9.8	9.7
コロナ禍の影響で海外旅行にあまり興味が無くなった	14.3	12.0	15.3	9.5	10.1	9.6
現地での日本人向けのサポート体制が不安	-	-	-	10.1	10.3	9.5
特に行きたい国・地域がない	7.6	8.8	9.1	8.5	8.5	8.6
コロナ禍に海外旅行をしたことに対する周囲からの偏見・誹謗中傷が心配	14.6	12.1	11.2	4.3	4.3	4.0
日本帰国時の水際対策が面倒（出国前検査、陰性・ワクチン接種証明書発行、到着時検査、自宅待機など等）	34.5	37.7	34.4	-	-	-
燃油サーチャージの引き上げによる割高感	23.7	35.8	31.2	-	-	-
航空券や宿泊施設の予約が面倒	-	-	9.7	-	-	-
その他	1.6	2.3	1.7	4.8	4.8	4.7
特に理由はない	8.3	5.0	5.2	13.0	12.8	13.1

※ 2023年1月までは本調査において国内旅行実施者のみを対象、2023年5月以降はスクリーニング調査で全体を対象としている。

年代別では海外旅行に行きたくない/実施を迷う理由としてのコロナの影響や公衆衛生面での不安は依然として残る

海外の観光レクリエーション旅行に行きたくない/実施を迷っている理由

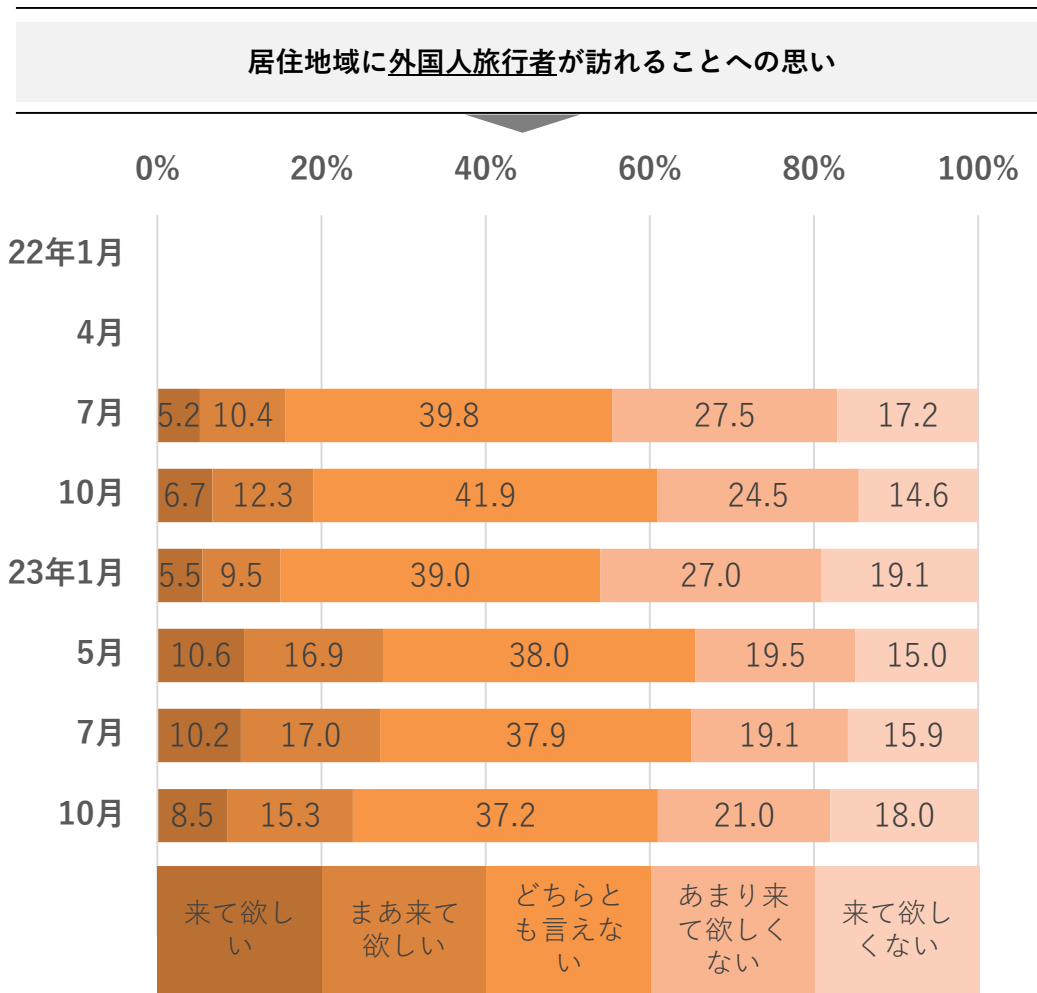
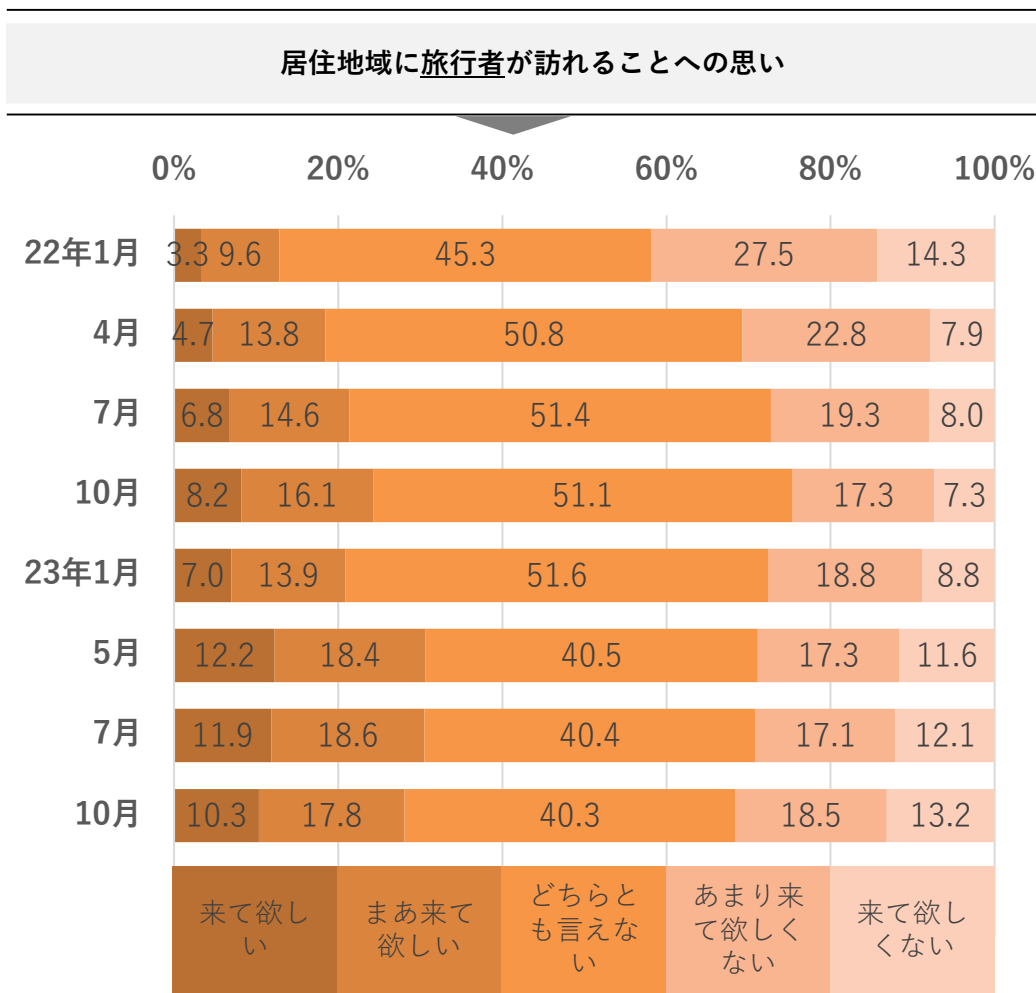
		n	感 高 の 影 響 に よ る 割 高	安 や 世 界 的 な 物 価	節 約 し た い	で き る 余 裕 が な い	経 済 的 に 海 外 旅 行 が	い か ら の 確 保 が 難 し め	の 海 外 旅 行 を す る た め	の 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス	／ 旅 行 先 で の 公 衆 衛 生	行 海 外 旅 行 が 好 ま し い 内 旅	が 渡 航 先 入 国 時 の 対 応	で の 影 響 が 安 全 に 旅 行	ウ ク ラ イ ナ 情 勢 な ど	予 約 が 面 倒	航 空 券 や 宿 泊 施 設 の	が 外 旅 行 に あ ま り 興 味	コ ロ ナ 禍 の 影 響 で 海	安 の サ ポ ー ト 日 本 人 向 け	域 特 に 行 き た い 国 ・ 地	誇 中 傷 が 心 配 偏 見 ・ 誹	そ の 他	特 に 理 由 は な い
全体		28413	46.8	24.2	23.4	19.6	19.5	16.5	14.4	14.3	9.7	9.6	9.5	8.6	4.0	4.7	13.1							
男性	10代	77	49.4	41.6	28.6	13.0	20.8	23.4	14.3	9.1	18.2	5.2	13.0	18.2	3.9	5.2	13.0							
	20代	1493	39.5	28.3	25.0	11.0	16.7	16.3	12.9	11.2	13.7	5.4	13.1	11.4	5.7	2.9	15.8							
	30代	2041	48.7	27.0	27.5	13.9	16.6	16.1	12.8	12.1	12.0	5.3	10.7	8.7	5.0	3.9	13.5							
	40代	2783	46.1	22.6	25.3	13.2	13.6	16.1	11.8	11.0	9.0	5.2	7.7	9.1	3.7	3.3	16.3							
	50代	2758	45.9	22.2	24.9	15.9	14.6	15.8	13.6	12.8	7.2	5.9	7.7	9.5	3.3	3.5	16.6							
	60代	2360	48.0	19.3	18.8	19.2	20.0	18.6	12.8	15.6	8.4	9.6	8.3	10.4	3.4	3.7	15.1							
	70代	1932	47.5	17.1	8.7	27.7	21.7	20.0	13.3	16.9	6.7	17.0	8.5	11.2	4.6	4.3	13.4							
女性	10代	131	41.2	38.2	28.2	9.2	24.4	20.6	17.6	6.9	22.1	6.9	14.5	11.5	4.6	0.8	14.5							
	20代	1713	43.6	35.3	31.8	12.8	21.9	16.3	17.0	10.9	14.7	4.7	14.8	6.9	4.3	5.7	11.5							
	30代	2316	46.2	31.1	31.7	19.3	21.4	16.5	16.2	13.6	12.1	6.0	12.2	5.2	5.0	9.8	11.1							
	40代	3144	48.6	29.9	28.2	19.4	19.5	15.6	15.2	13.2	10.1	7.9	8.7	7.2	4.0	5.4	10.7							
	50代	2834	47.8	25.5	26.4	21.8	18.9	14.4	14.3	14.6	8.4	9.7	8.2	7.7	3.4	5.0	12.5							
	60代	2742	49.5	18.6	19.7	27.9	25.8	16.5	16.9	18.9	9.0	15.7	10.2	7.7	3.8	4.0	10.4							
	70代	2089	46.4	14.2	9.7	31.2	23.6	16.3	16.0	21.3	7.2	23.4	7.7	9.6	3.5	5.0	11.3							

1位 2位 3位

出典：JTBF旅行意識調査

(参考)

直近データでは、居住地への旅行者の来訪に対して「来て欲しくない」割合が微増の傾向



出典：JTBF旅行実態調査

2 | インバウンド市場の動向・意識

調査概要 (DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査)

調査の概要

調査方法	インターネットによる調査
実施時期	2023年7月6日～7月14日
調査地域	<p>■アジア：韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア</p> <p>■欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス (12ヶ国・地域)</p> <p>(注) 中国は北京および上海在住者のみ (割合は北京50%：上海50%) (注) アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスは2016年度調査から追加</p>
調査対象者	<p>20歳～79歳の男女、かつ、海外旅行経験者</p> <p>(注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行は、海外旅行経験から除く</p>
有効回答者	上記各地域に居住する住民計7,414人
協力会社	(株)インテージリサーチ、DBJデジタルソリューションズ(株)

- 2019年6月25日～7月8日に実施された調査を 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (2019年度版)」 (以下、2019年度調査) とする。
- 2020年6月2日～6月12日に実施された調査を 「第1回新型コロナ影響度特別調査」 (以下、第1回調査) とする。
- 2020年12月1日～12月12日に実施された調査を 「第2回新型コロナ影響度特別調査」 (以下、第2回調査) とする。
- 2021年10月5日～10月19日に実施された調査を 「第3回新型コロナ影響度特別調査」 (以下、第3回調査) とする。
- 2022年6月21日～7月4日に実施された調査を 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 (2022年度版)」 (以下、2022年度調査) とする。

※ “有意差検定”とは、調査結果から得られたある2つの値の差が、統計的に信頼できるものであるか、もしくは偶然のものであるかを判別する検定。前者である場合、「5%水準で有意」と表記している。

※ 数値を整数表示 (小数点第1位を四捨五入) にしているため、構成比の数値を合計しても必ずしも100%とはならない。

有効回答者数等

有効回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
男性	3,689	2,438	304	295	313	308	304	317	295	302	1,251	316	306	308	321
女性	3,643	2,403	299	300	307	293	294	315	299	296	1,240	308	307	308	317
その他	82	16	0	1	4	1	2	4	0	4	66	8	3	3	52
総計	7,414	4,857	603	596	624	602	600	636	594	602	2,557	632	616	619	690

訪日経験別回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
訪日経験あり	3,348	2,930	438	307	486	526	401	324	190	258	418	100	158	103	57
訪日経験者 (1回)	1,156	945	129	124	124	81	157	126	87	117	211	46	90	54	21
訪日経験者 (2回以上)	2,192	1,985	309	183	362	445	244	198	103	141	207	54	68	49	36
訪日経験なし	4,066	1,927	165	289	138	76	199	312	404	344	2,139	532	458	516	633
総計	7,414	4,857	603	596	624	602	600	636	594	602	2,557	632	616	619	690

訪日経験別回答者数 (割合) (%)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
訪日経験あり	45	60	73	52	78	87	67	51	32	43	16	16	26	17	8
訪日経験者 (1回)	16	19	21	21	20	13	26	20	15	19	8	7	15	9	3
訪日経験者 (2回以上)	30	41	51	31	58	74	41	31	17	23	8	9	11	8	5
訪日経験なし	55	40	27	48	22	13	33	49	68	57	84	84	74	83	92

2-1 | 海外旅行の予定・検討状況

海外渡航者数の回復状況は、欧米豪にアジアが追いつき同水準に

海外渡航者数の回復状況※1

(単位：%)

地域	比較月	海外渡航者回復状況 (対2019年同月比)
韓国	2023年8月	86%
台湾	2023年8月	80%
香港	2023年7月	83%
シンガポール	2023年8月	81%
アメリカ※2	2023年7月	111%
オーストラリア	2023年8月	84%
イギリス	2023年7月	86%

※1: 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査」の調査対象地域12国・地域のうち、月単位で出国者数を公表している国・地域を対象に、2023年10月下旬現在で公表されている2023年の最新月の出国者数について、2019年同月の出国者数を100としたときの回復状況を示している。

※2: メキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数字

出典：各国の統計資料よりJTBF作成（各国の統計資料についてはデータ出処を参照）

データ出処

韓国：한국관광공사 한국관광통계（韓国観光公社 韓国観光統計）

台湾：中華民國交通部觀光局 出國旅客按目的地統計

香港：香港特別行政區 政府統計處 香港統計月刊

シンガポール：Government of Singapore Outbound Departures of Singapore Residents

アメリカ：U.S. Department of Commerce Tourism Industries U.S. International Air Travel Statistics

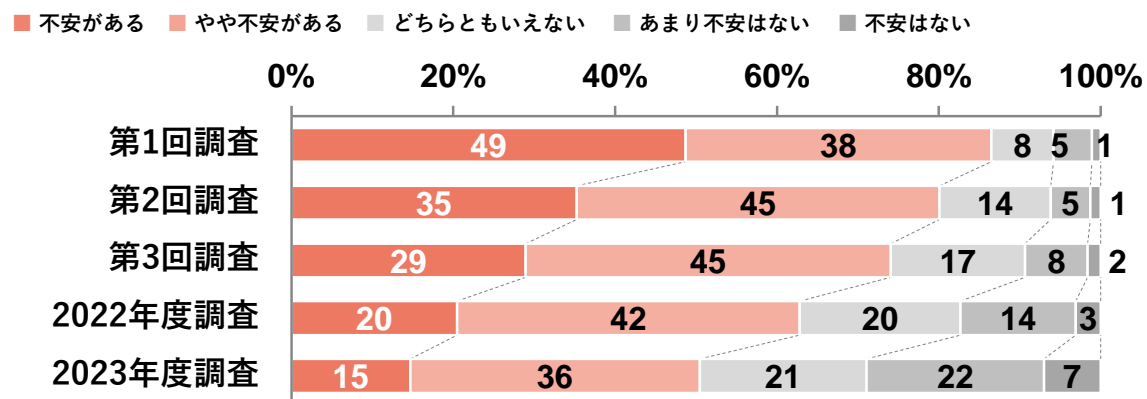
オーストラリア：Australian Bureau of Statistics Overseas Arrivals and Departures

イギリス：Office for National Statistics Overseas travel and tourism, monthly

新型コロナの感染不安は全般的に低下

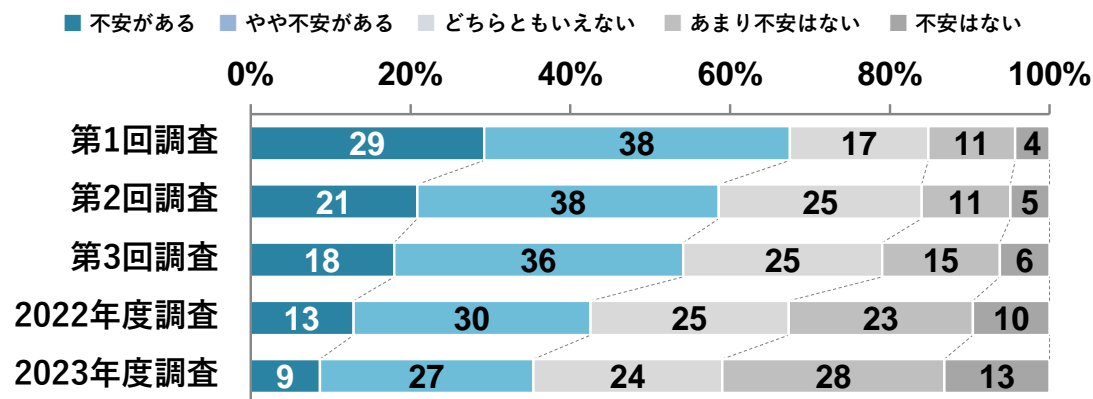
全員 | 新型コロナ感染リスクに対する不安 (回答は1つ)

アジア居住者



第1回調査(n=4,194)
 第2回調査(n=4,127)
 第3回調査(n=4,189)
 2022年度調査(n=4,201)
 2023年度調査(n=4,857)

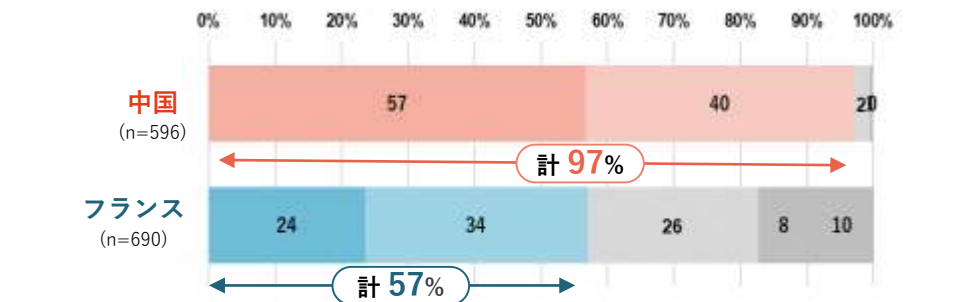
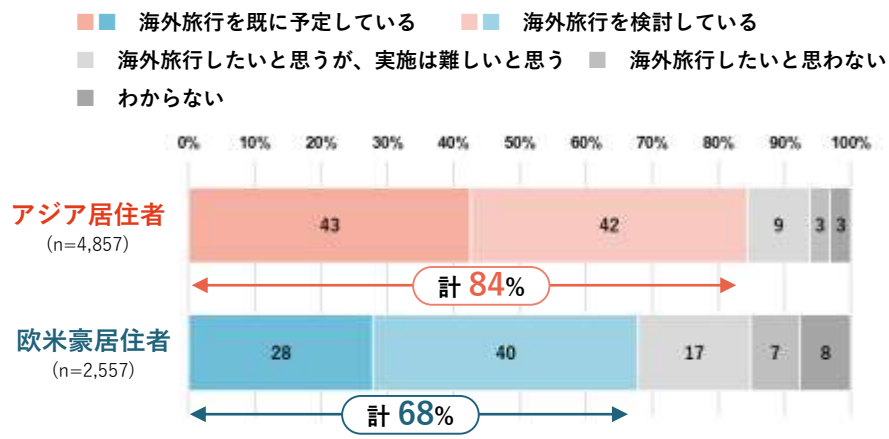
欧米豪居住者



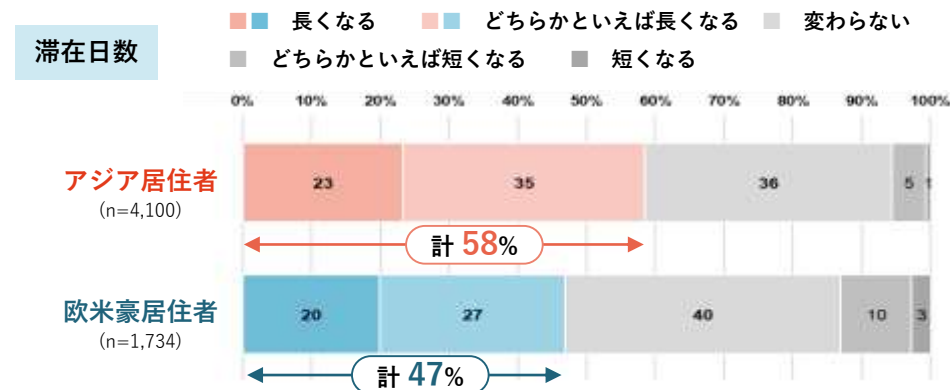
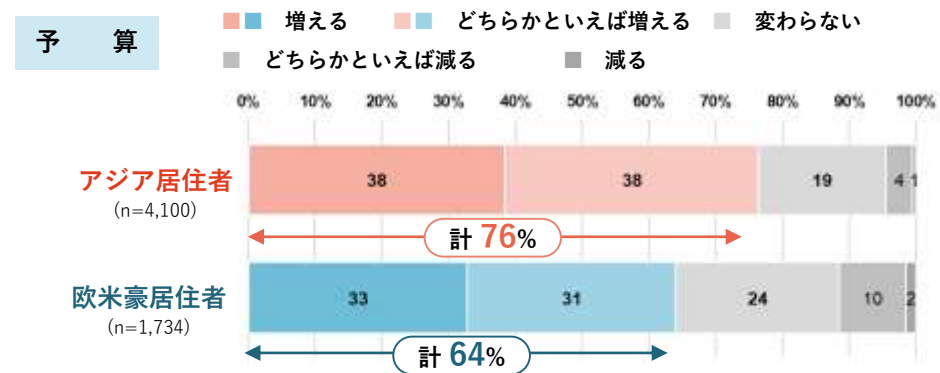
第1回調査(n=2,072)
 第2回調査(n=2,012)
 第3回調査(n=2,105)
 2022年度調査(n=2,106)
 2023年度調査(n=2,557)

向こう1年の海外旅行の予定・検討状況は欧米豪よりもアジアの方が高水準 次の海外旅行の予算と滞在日数もアジアを中心に増加・長期化の意向

全員 向こう1年の海外旅行の「予定・検討」状況 (回答は1つ)

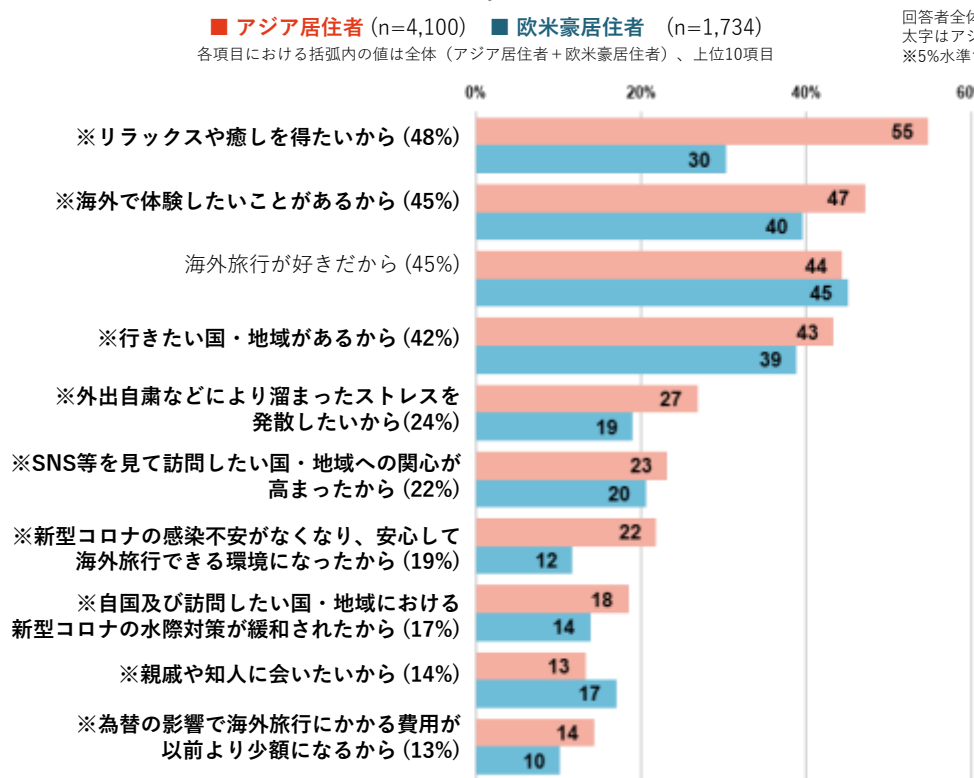


海外旅行を予定・検討している人 次の海外旅行の予算と滞在日数は2019年以前の海外旅行と比較してどのように変化するか (回答は1つ)

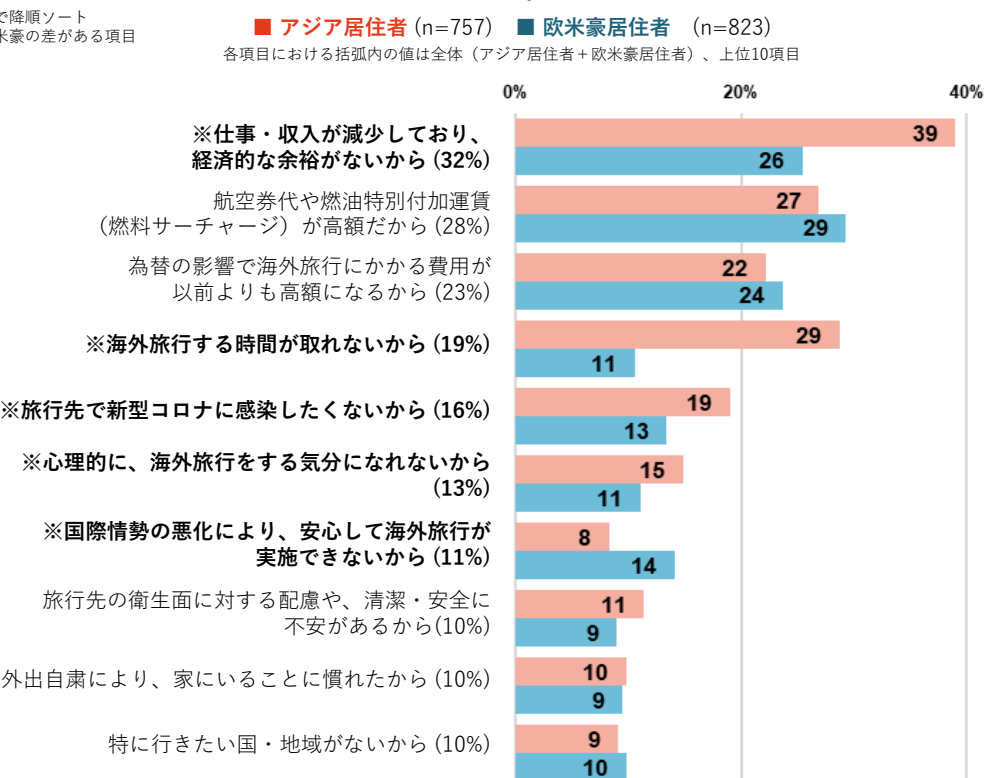


アジアでは「癒し」を求め、欧米豪は「好きだから」、海外旅行を予定・検討 海外旅行を予定・検討しない理由は、アジア、欧米豪ともに経済的理由が多数

向こう1年の間に海外旅行を予定・検討している人
海外旅行を予定・検討している理由
(回答はあてはまるもの全て)



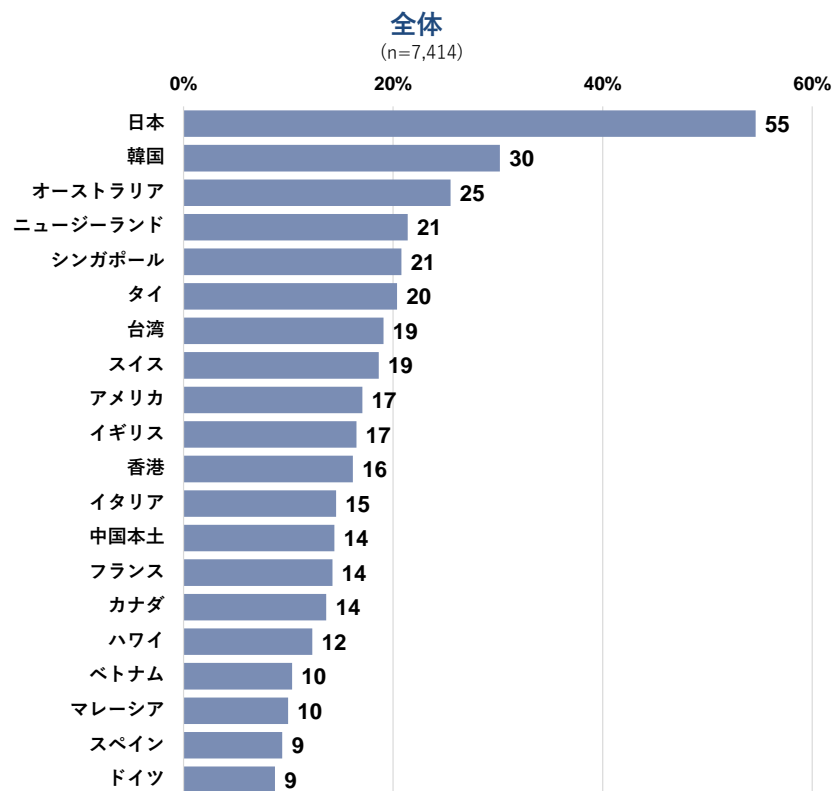
向こう1年の間に海外旅行を予定・検討していない人
海外旅行を予定・検討していない理由
(回答はあてはまるもの全て)



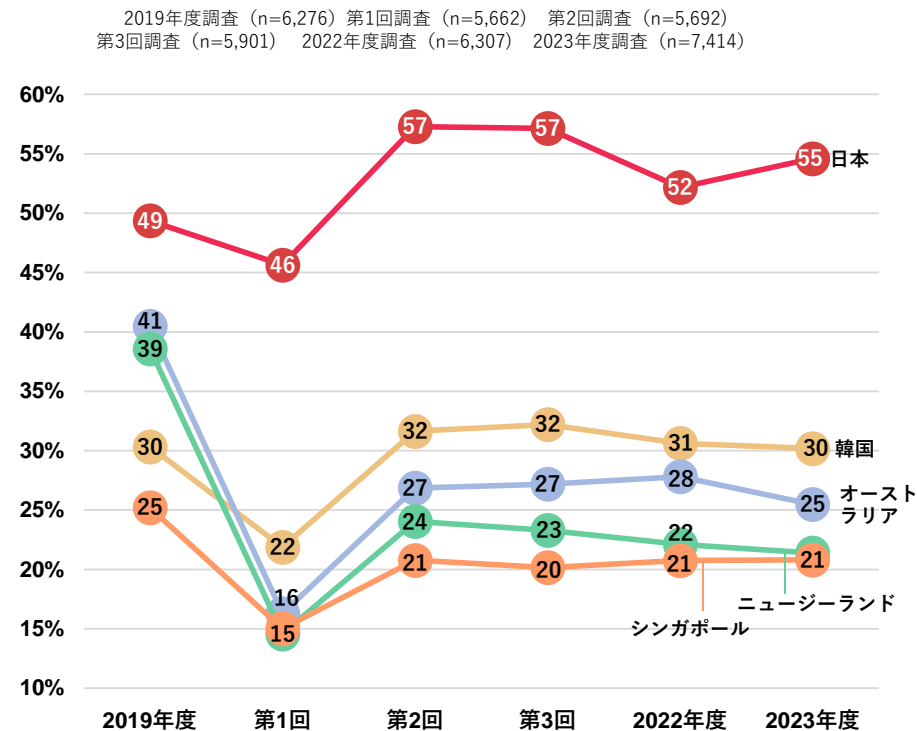
2-2 | 次に海外旅行したい国・地域

日本は次に観光旅行したい国・地域で1位

全員 | 次に、あなたが観光旅行したい国・地域
(回答は最大5つまで)



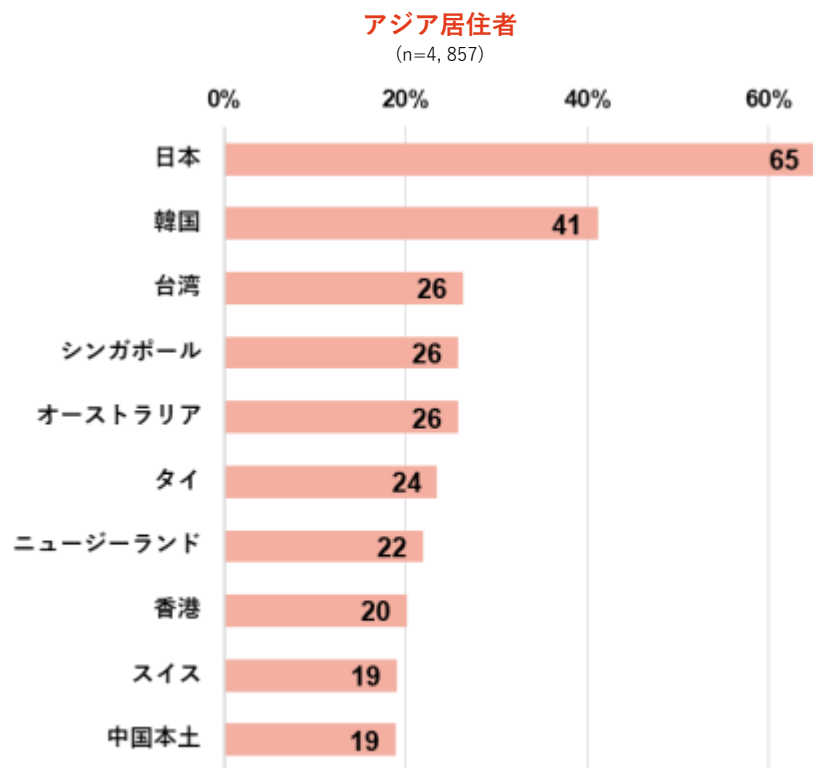
次に海外旅行したい国・地域
2023年度調査上位5ヶ国・地域の推移



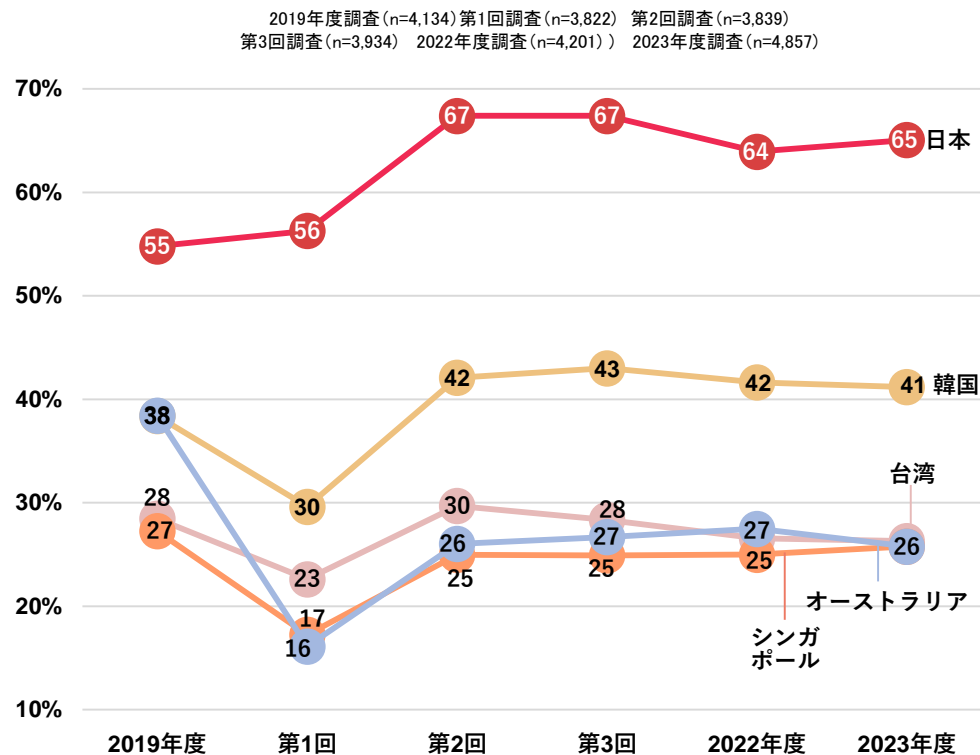
※1 2019年度、2022年度、2023年度調査の回答対象者は全員、第1回～第3回調査の回答対象者は新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したい) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員
 ※2 2022年度、2023年度調査および第1回～第3回調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域(中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国)を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。
 ※3 2019年度調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と回答者の国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

アジア居住者の次の海外旅行先として、日本は高い人気を維持

全員 | 次に海外旅行したい国・地域 (回答は最大5つまで) (上位10位まで)



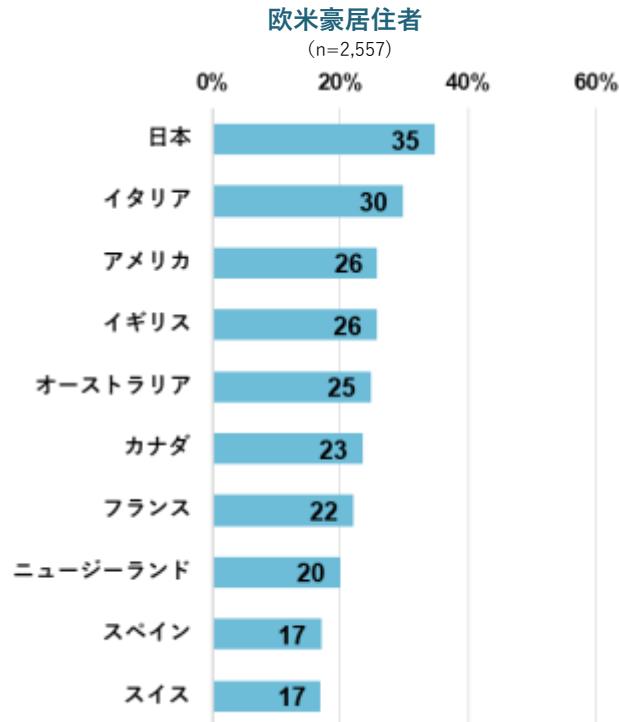
アジア居住者が次に海外旅行したい国・地域 2023年度調査上位5ヶ国・地域の推移



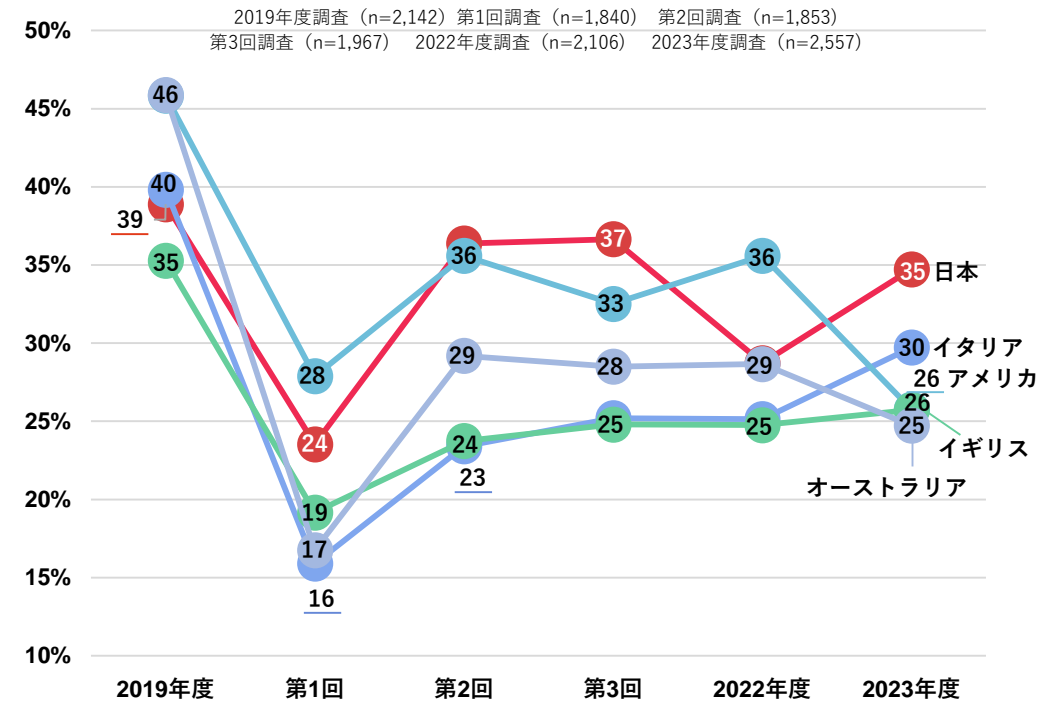
※1 2019年度、2022年度、2023年度調査の回答対象者は全員、第1回～第3回調査の回答対象者は新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したい) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員
 ※2 2022年度、2023年度調査および第1回～第3回調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域(中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国)を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。
 ※3 2019年度調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と回答者の国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

欧米豪居住者の次の海外旅行先として、日本は前回2位から返り咲きトップ

全員	次に海外旅行したい国・地域 (回答は最大5つまで)	(上位10位まで)
----	------------------------------	-----------



欧米豪居住者が次に海外旅行したい国・地域 2023年度調査上位5ヶ国・地域の推移



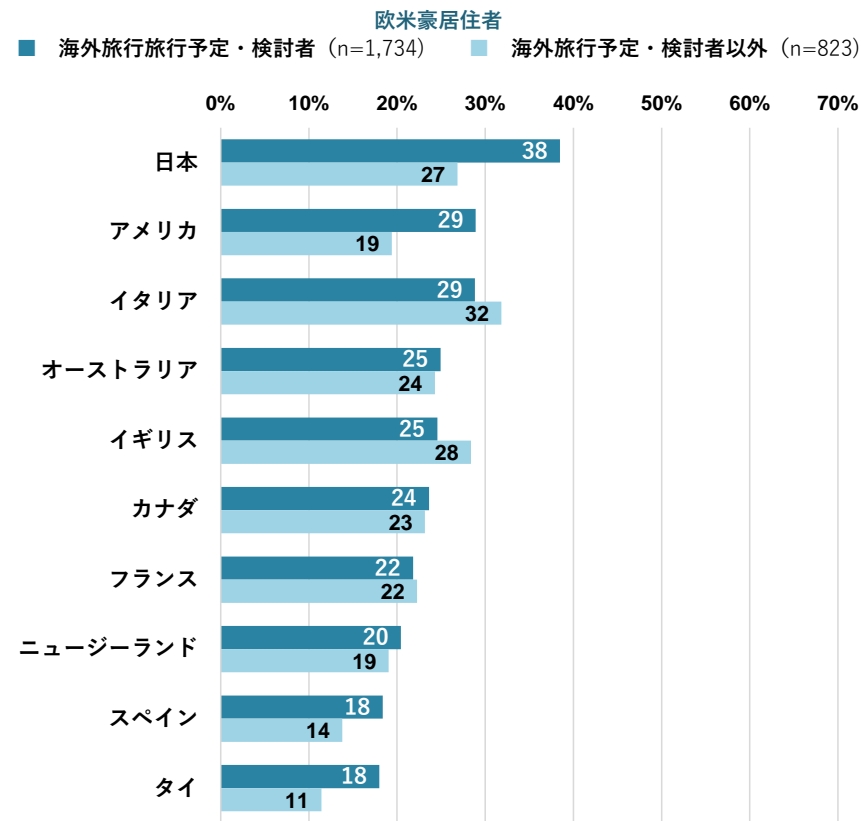
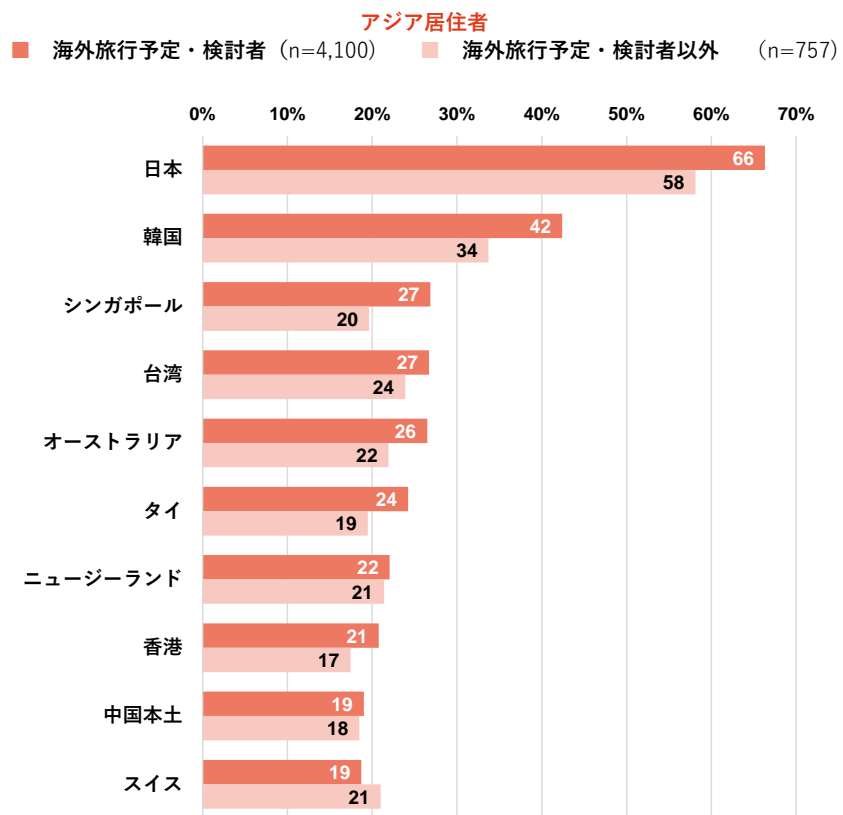
※1 2019年度、2022年度、2023年度調査の回答対象者は全員、第1回～第3回調査の回答対象者は新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したいと)思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員

※2 2022年度、2023年度調査および第1回～第3回調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域(中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国)を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

※3 2019年度調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と回答者の国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

向こう1年の海外旅行予定・検討者が海外旅行したい国・地域のトップも日本

全員 | 次に海外旅行したい国・地域 向こう1年の海外旅行予定・検討ステージ別 (回答は最大5つまで) 海外旅行予定・検討者で降順ソート
上位10位まで

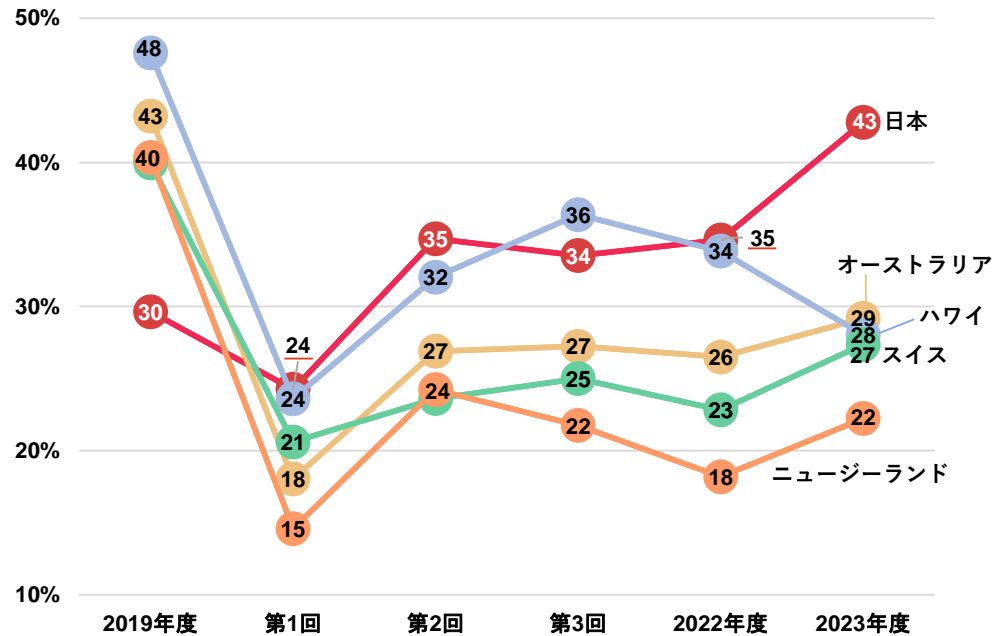


※ 「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域（中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国）を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数（分母）から除いている。

韓国では、日本の人気が急上昇

韓国居住者が次に海外旅行したい国・地域
2023年度調査上位5ヶ国・地域の推移

2019年度調査 (n=523) 第1回調査 (n=466) 第2回調査 (n=487)
第3回調査 (n=492) 2022年度調査 (n=517) 2023年度調査 (n=603)

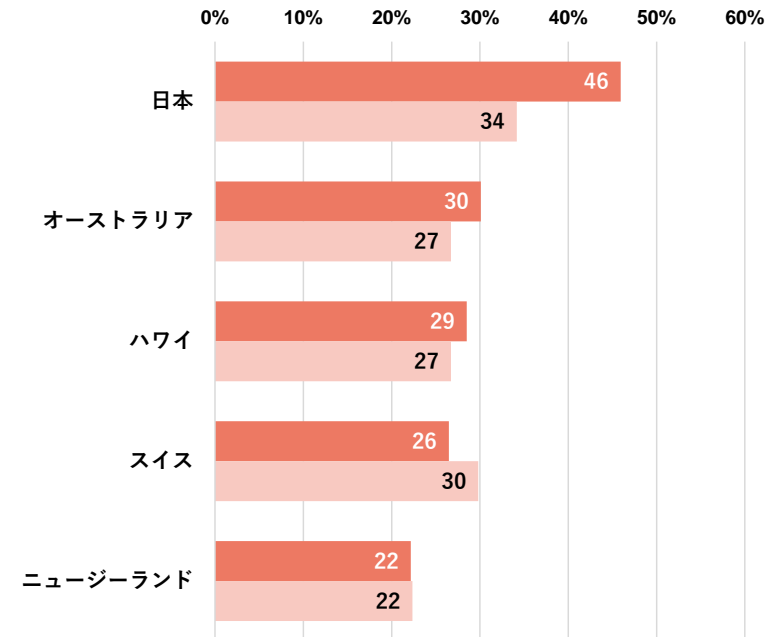


2023年度調査
全員

次に海外旅行したい国・地域
向こう1年の海外旅行予定・検討ステージ別

海外旅行予定・検討者で降順ソート
上位5位まで

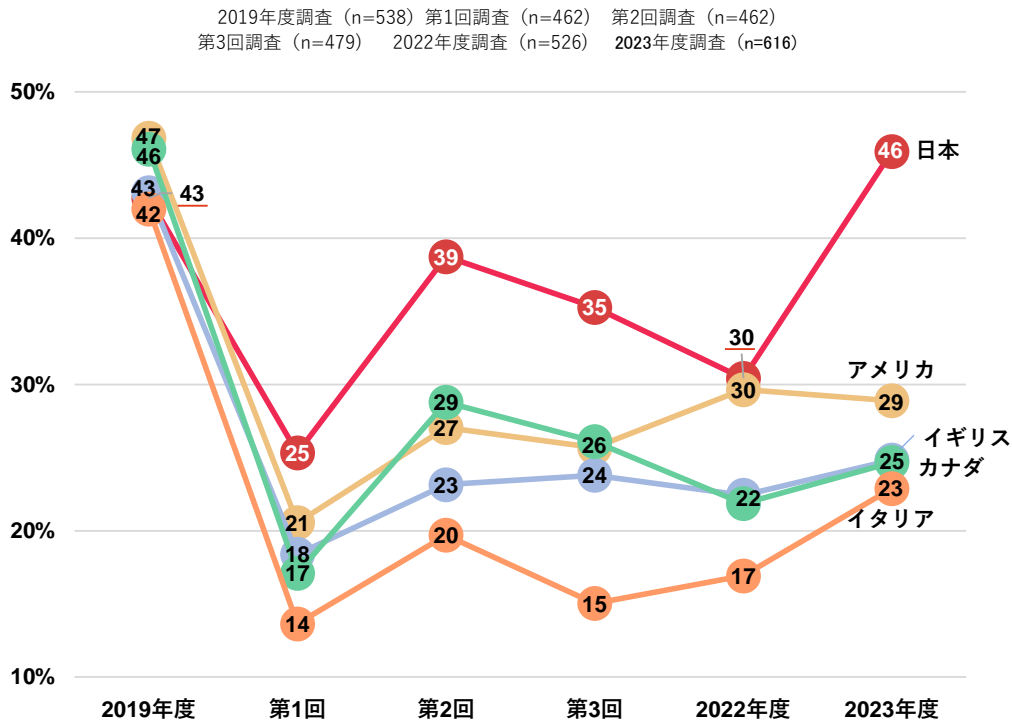
■ 海外旅行予定・検討者 (n=442) ■ 海外旅行予定・検討者以外 (n=161)



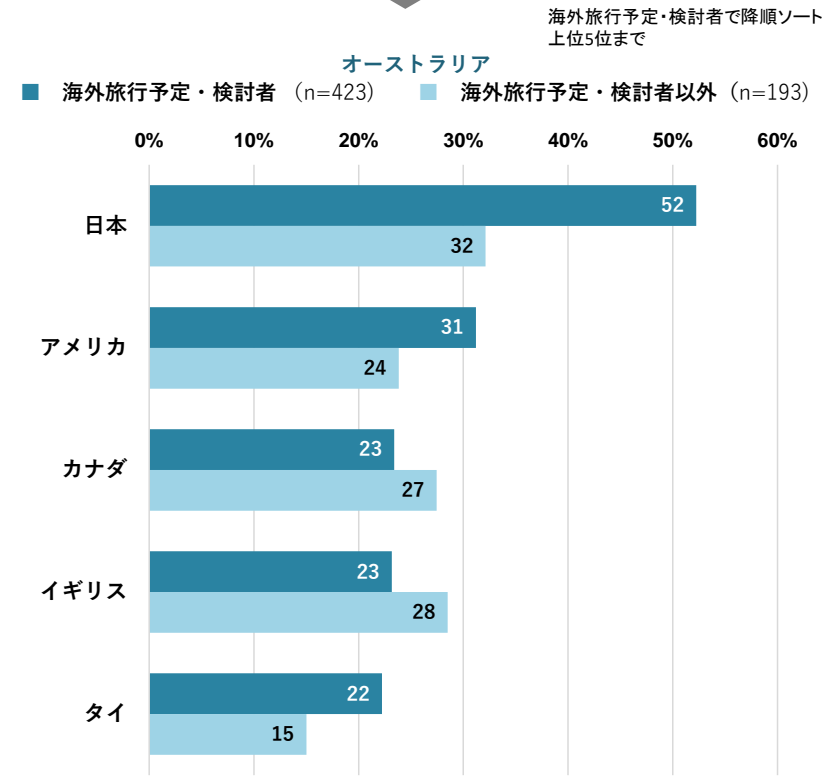
※1 2019年度、2022年度、2023年度調査の回答対象者は全員、第1回～第3回調査の回答対象者は新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したい) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員
 ※2 2022年度、2023年度調査および第1回～第3回調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域(中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国)を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。
 ※3 2019年度調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と回答者の国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

オーストラリアでは、日本人気が群を抜いて高い

オーストラリア居住者が次に海外旅行したい国・地域
2023年度調査上位5ヶ国・地域の推移



2023年度調査 全員
次に海外旅行したい国・地域
向こう1年の海外旅行予定・検討ステージ別



※1 2019年度、2022年度、2023年度調査の回答対象者は全員、第1回～第3回調査の回答対象者は新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したいと) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員

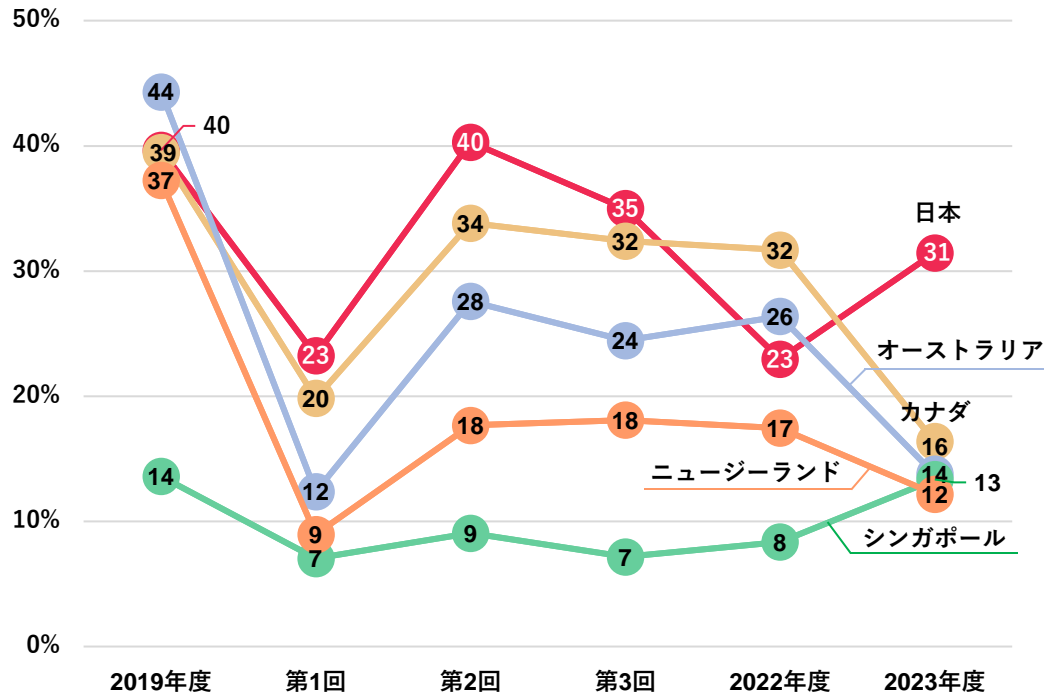
※2 2022年度、2023年度調査および第1回～第3回調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域(中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国)を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

※3 2019年度調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と回答者の国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

フランスでは、下降していた日本の人気が回復

フランス居住者が次に海外旅行したい国・地域
2023年度調査上位5ヶ国・地域の推移

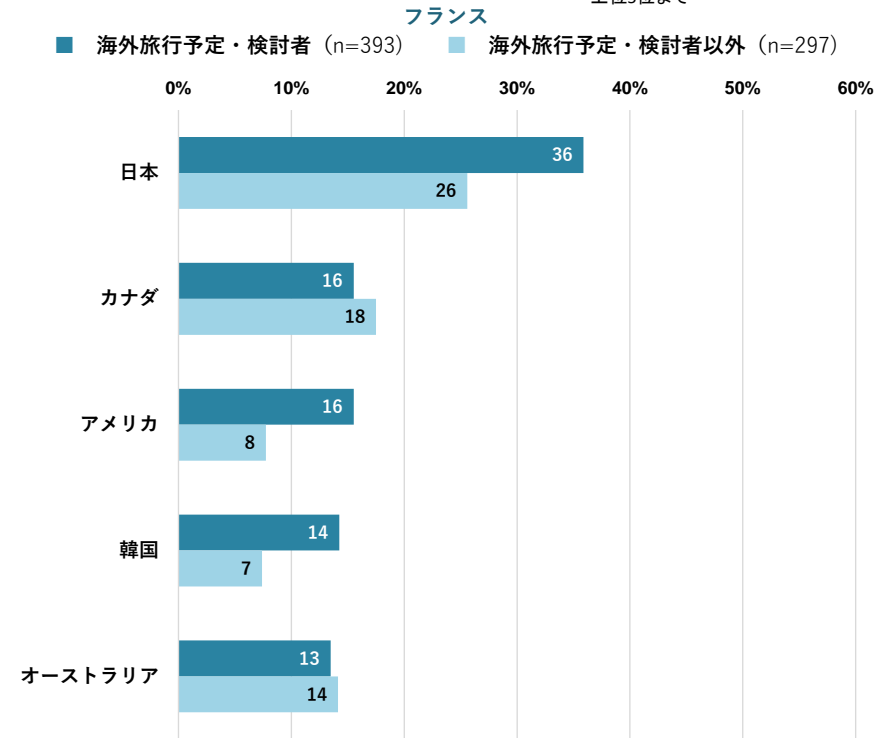
2019年度調査 (n=537) 第1回調査 (n=469) 第2回調査 (n=464)
第3回調査 (n=503) 2022年度調査 (n=527) 2023年度調査 (n=690)



2023年度調査
全員

次に海外旅行したい国・地域
向こう1年の海外旅行予定・検討ステージ別

海外旅行予定・検討者で降順ソート
上位5位まで

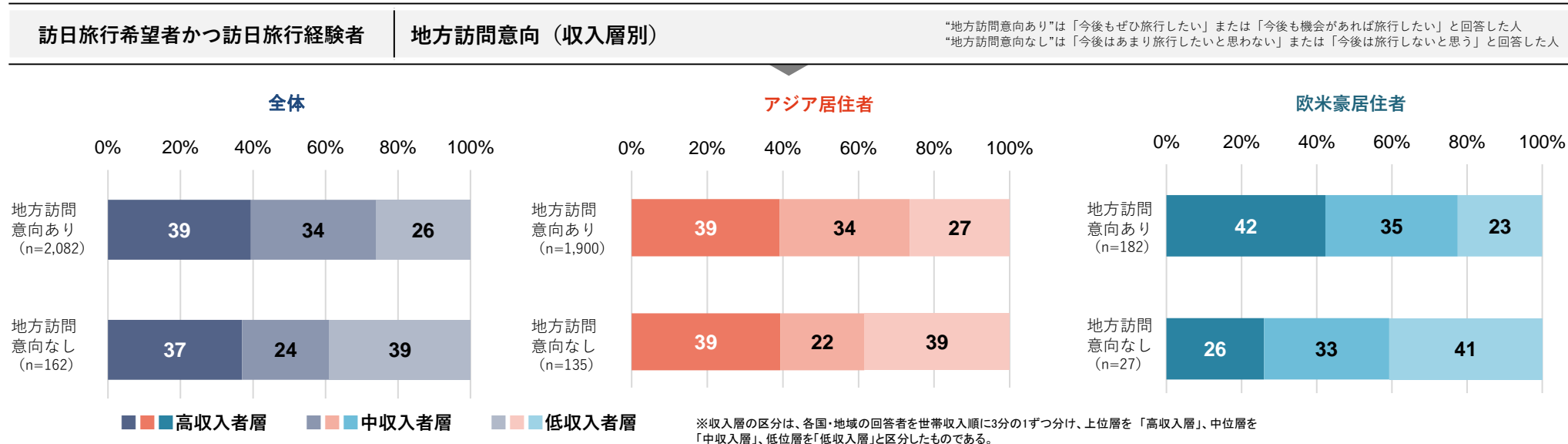
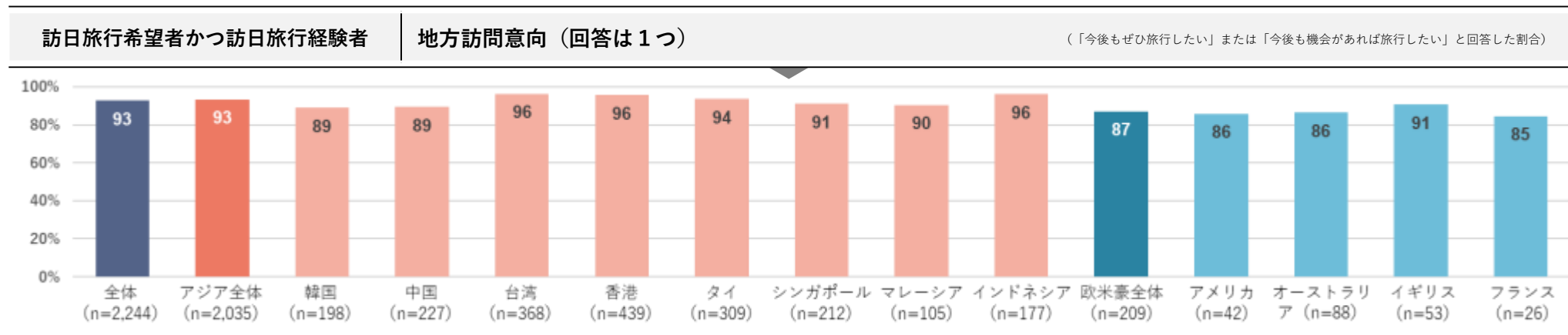


※1 2019年度、2022年度、2023年度調査の回答対象者は全員、第1回～第3回調査の回答対象者は新型コロナウイルス収束後の海外旅行について「(したいと) 思わない」を選択した対象者及び次に海外旅行の検討を再開するタイミングについて「現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない」と回答した対象者を除く全員
 ※2 2022年度、2023年度調査および第1回～第3回調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域及び近隣の国・地域(中国-香港-マカオ、マレーシア-シンガポール、タイ-マレーシア、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム、オーストラリア-ニュージーランド、イギリス・フランス-欧州各国)を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と「回答者の国・地域」及び「回答者の近隣国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。
 ※3 2019年度調査については、「次に観光旅行したい国・地域」の選択肢から、回答者の国・地域を除いている。割合の算出において、「旅行したい国・地域」と回答者の国・地域」が同じ場合、当該国・地域の回答者数をサンプル数(分母)から除いている。

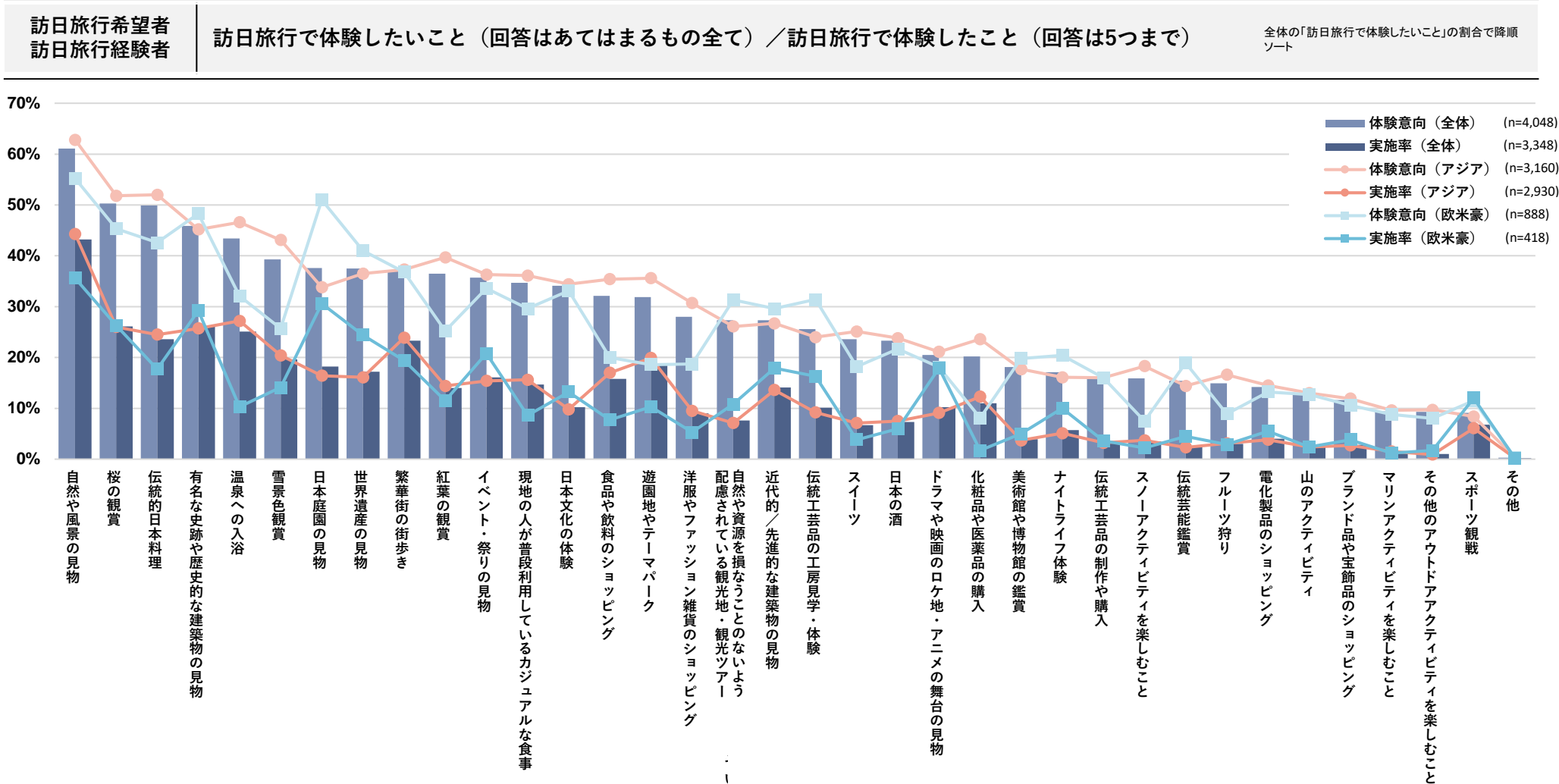
2-3

訪日旅行希望者・経験者の意向

地方訪問意向はアジア・欧米豪ともに約9割 高収入者層の方が地方訪問意向が高い傾向

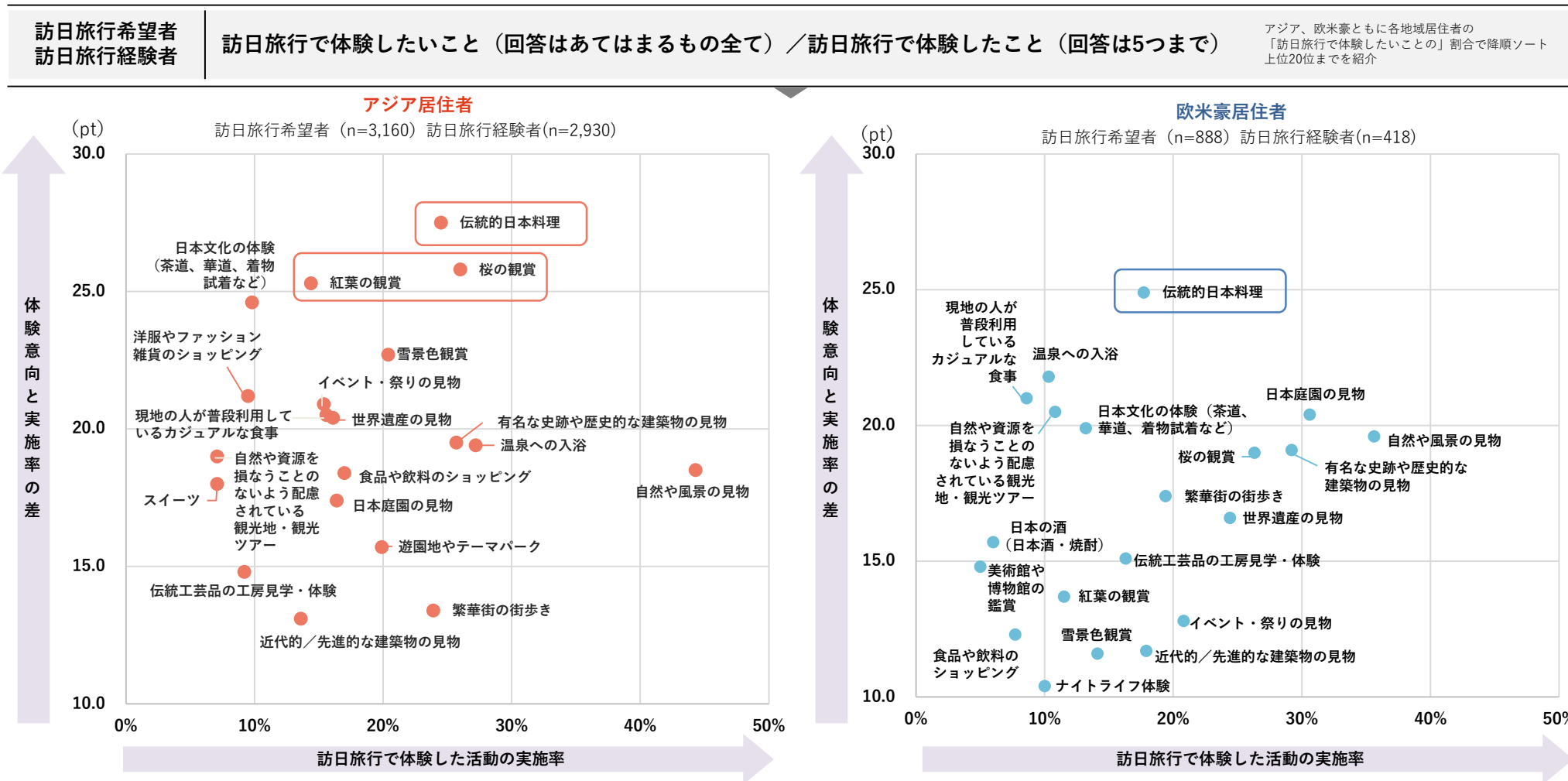


訪日旅行で体験したいこと／体験したことの1位はともに「自然や風景の見物」



訪日旅行で体験したいこと／体験したことの差分が最も大きい活動は「伝統的日本料理」

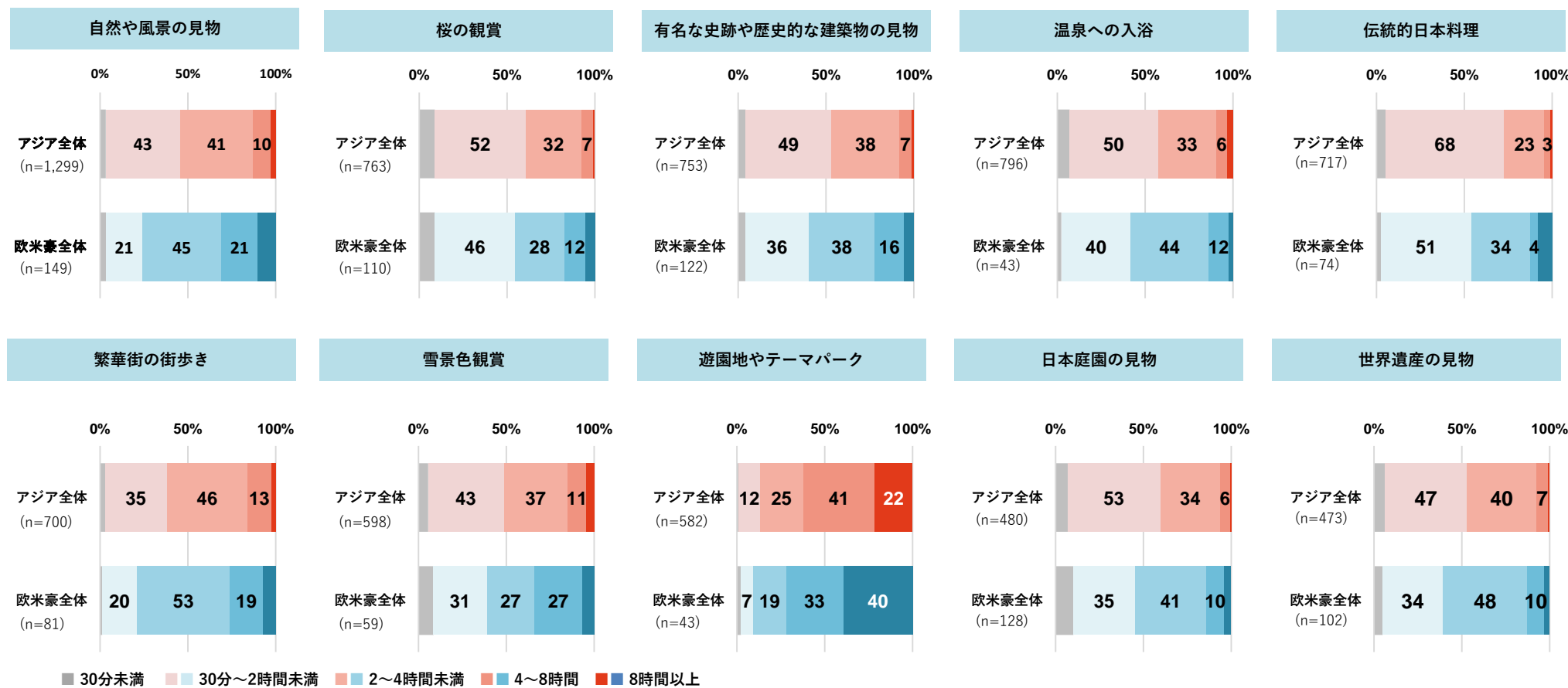
アジアでは、桜や紅葉等、訪日時期によって体験可否が決まるコンテンツの差が大きい



訪日旅行で実施した活動に要した時間はアジアに比べ、欧米豪は長い傾向

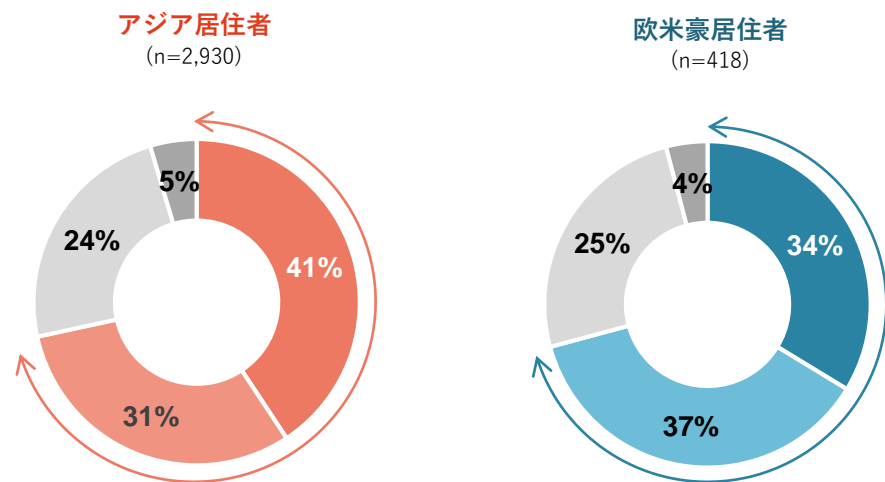
訪日経験者 | 訪日旅行で実施した活動に要した時間（回答はそれぞれ1つ）

全体の割合で「訪日旅行で体験したこと」を降順ソートし、上位10位までの活動について所要時間を紹介



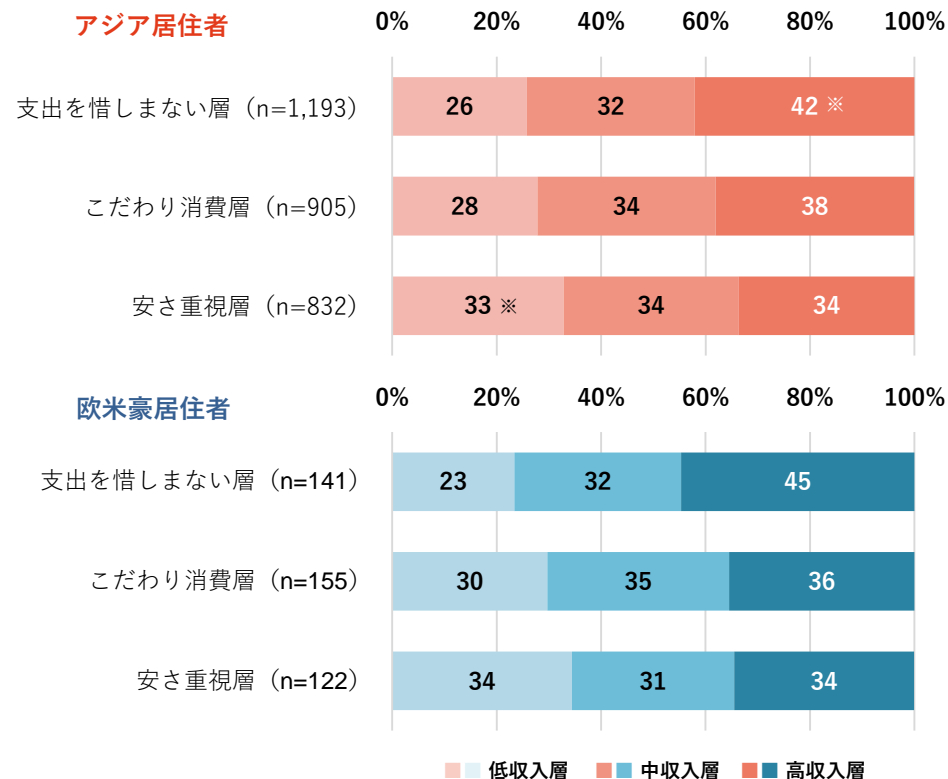
訪日時の支出の考え方は、「支出を惜しまない層」「こだわり消費層」計で約7割。世帯収入に関わらず、品質のよいサービス・モノやこだわりポイントに対する支出を期待できる可能性が高い

訪日経験者 | 直近訪日旅行時の支出の考え方 (回答は1つ)



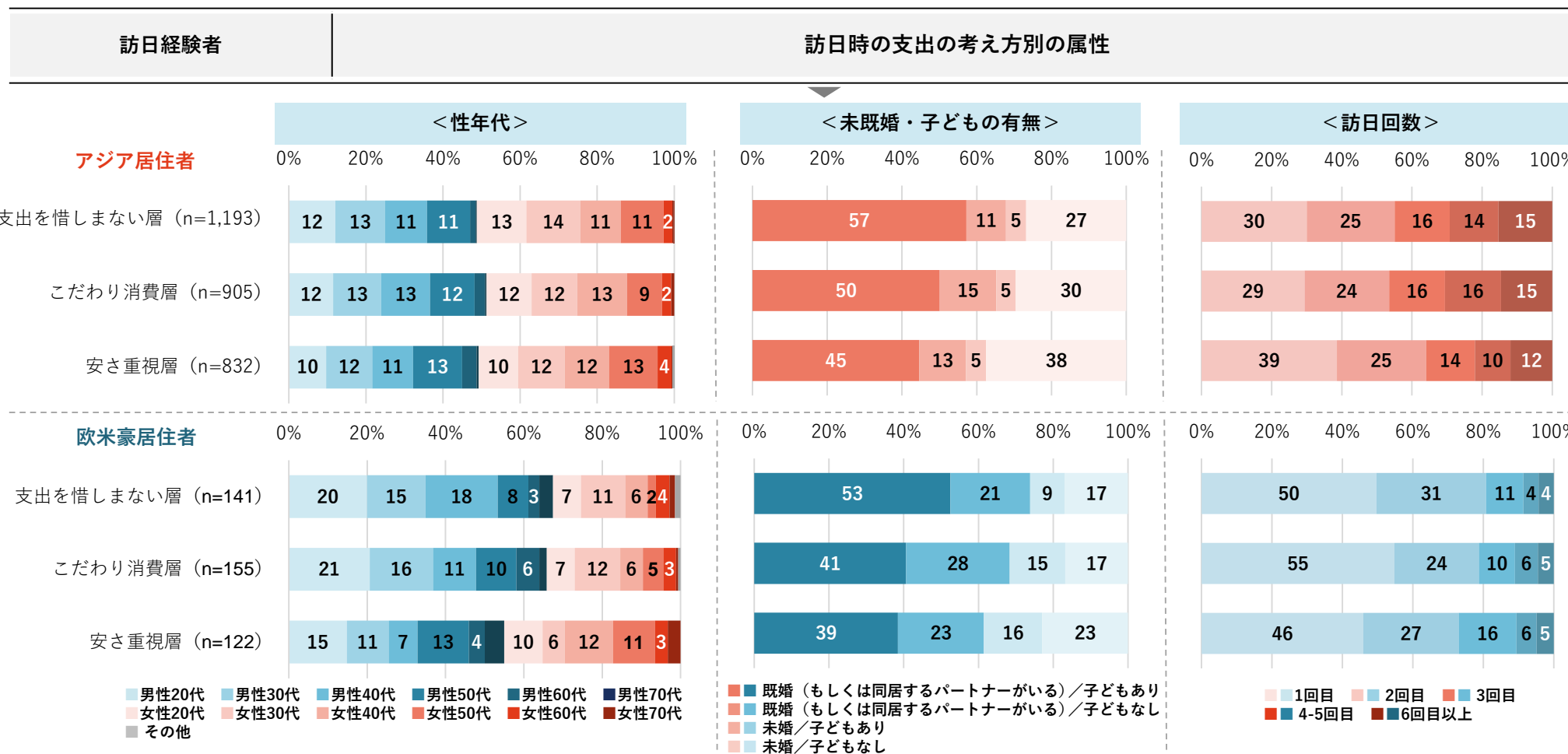
■ 自分が望むレベルのサービスやモノの品質レベルであれば、全般的に支出を惜しまなかった	支出を惜しまない層
■ 自分がこだわっているサービスやモノのみ、支出を惜しまなかった	こだわり消費層
■ 情報収集し、全般的によりよいサービスやモノをできるだけ安く購入した	安さ重視層
■ 全般的に安さを重視した	

訪日経験者 | 直近の訪日旅行時の支出の考え方 × 収入層 ※5%水準で有意

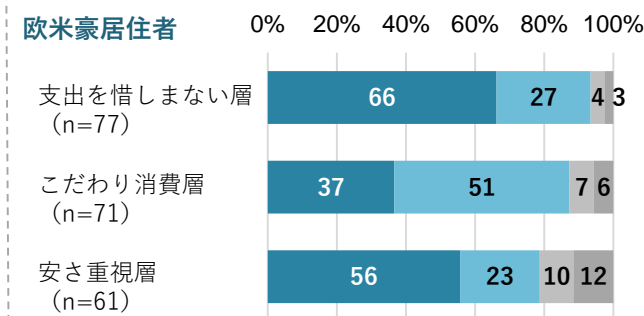
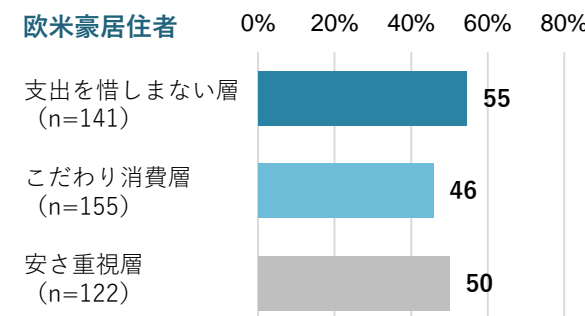
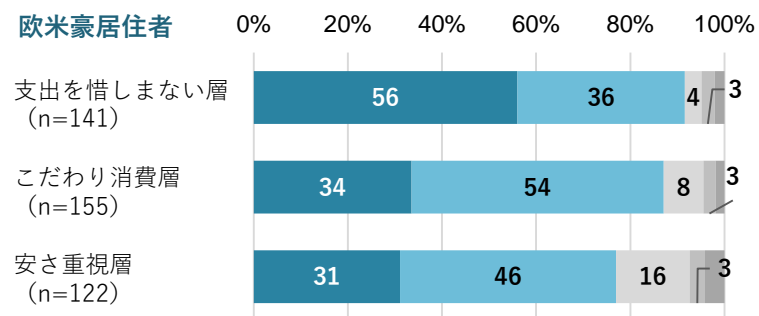
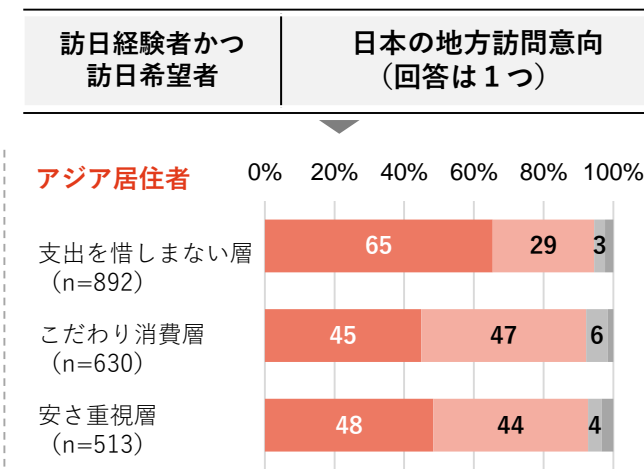
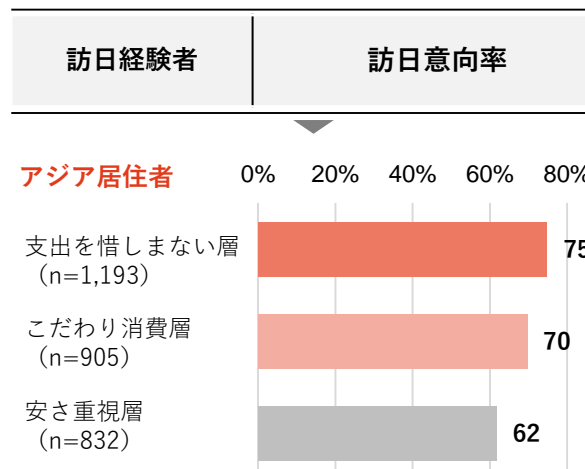
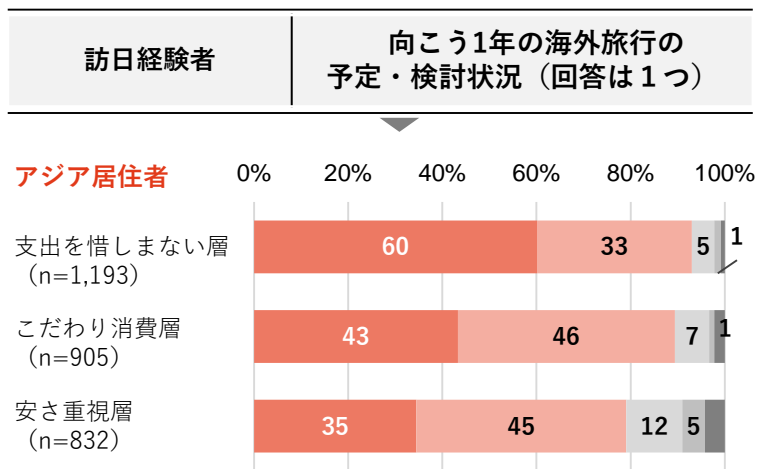


※収入層の区分は、各国・地域の回答者を世帯収入順に3分の1ずつ分け、上位層を「高収入層」、中位層を「中収入層」、低位層を「低収入層」と区分したものである。

「支出に期待できる層」「こだわり消費層」は既婚の割合が高く、アジアの同層では訪日リピーターの割合が高い



「支出を惜しまない層」「こだわり消費層」の海外旅行意向は高く、すでに予定・検討のステージにあり、訪日意向、日本の地方訪問意向も高い

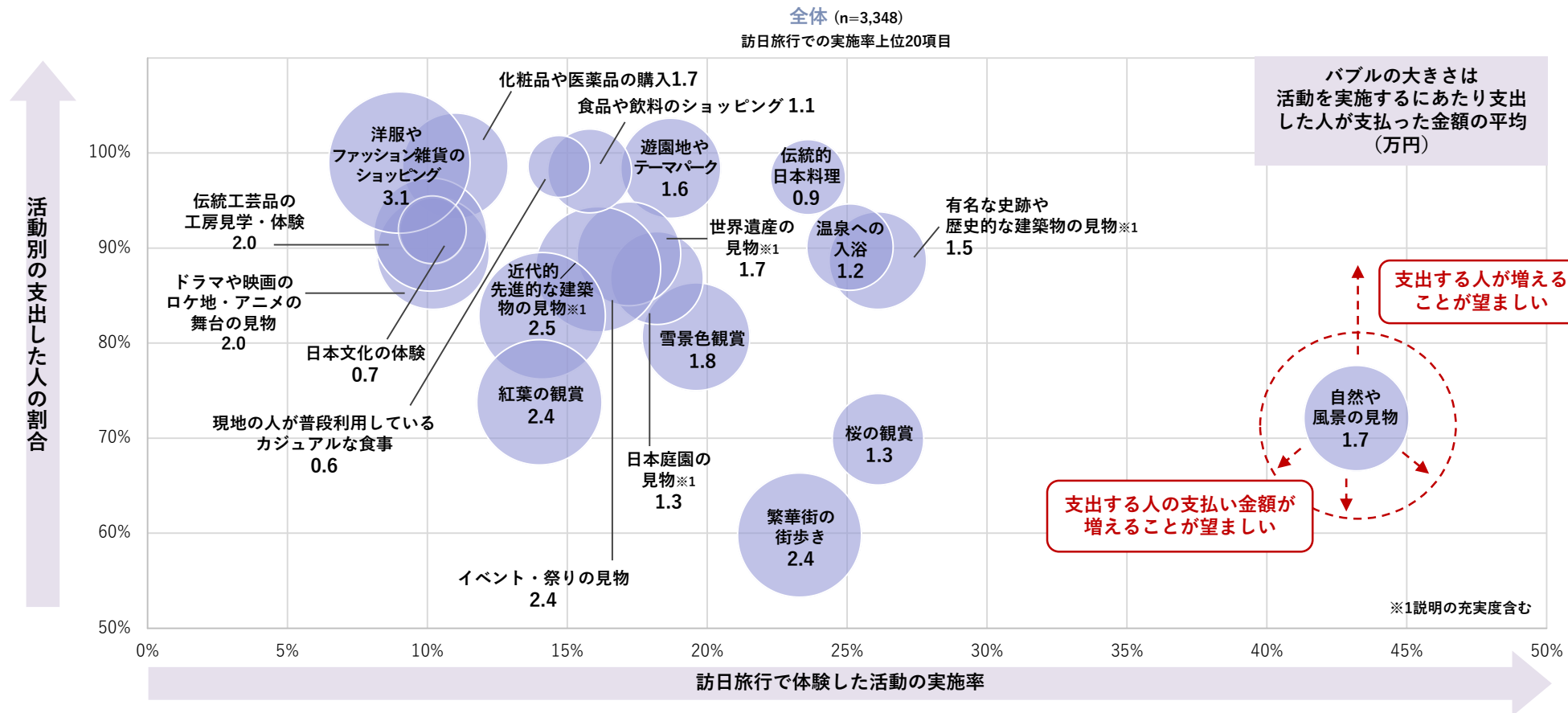


■ 海外旅行を既に予定している
 ■ 海外旅行を検討している
 ■ 海外旅行したいと思うが、実施は難しいと思う
 ■ 海外旅行したいと思わない
 ■ わからない

■ ぜひ訪れてみたい
 ■ 機会があれば訪れてみたい
 ■ あまり訪れたいと思わない
 ■ 訪れないと思う

訪日旅行で体験した活動は実施率が高いほど、支出した人の割合が低い 各活動の性質を把握した上で、誘客促進や消費額促進につなげていくことが重要

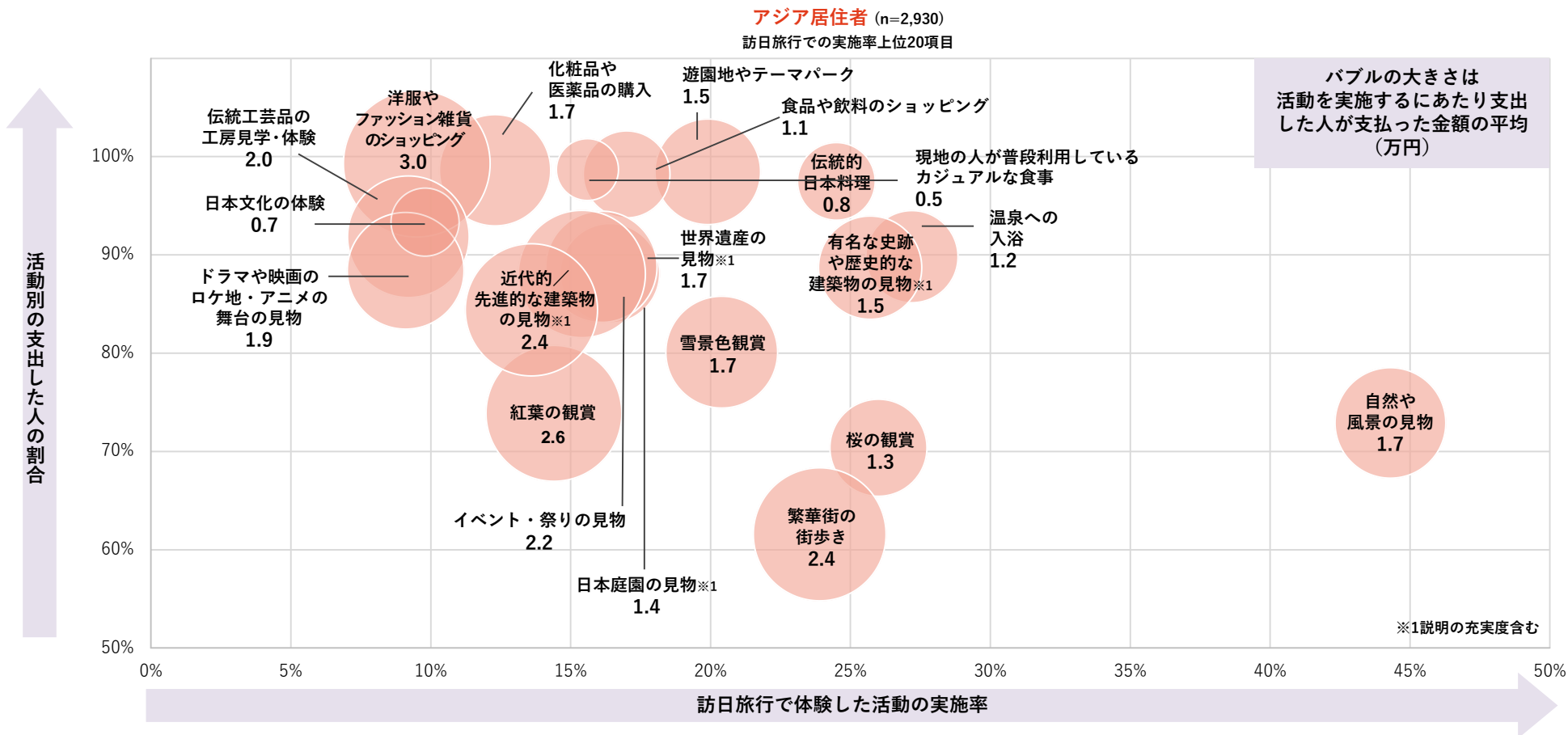
訪日経験者 | 訪日旅行で体験した活動の実施率（上位20位）×支出した人の割合（活動別）×支出した人が支払った金額※2の平均（活動別）



※2活動別にその活動を実施した場所で支払った金額を費目ごと（例：入場料、ガイド料、体験料、指定席料、飲食代、買い物代、レンタル料等）に回答してもらい、これらの合計金額を当該活動を実施するにあたり支払った金額とした（金額不明は除く）。

訪日旅行で体験した活動は実施率が高いほど、支出した人の割合が低い 買い物に関する活動は、実施率は低いが支出した人の割合は高い

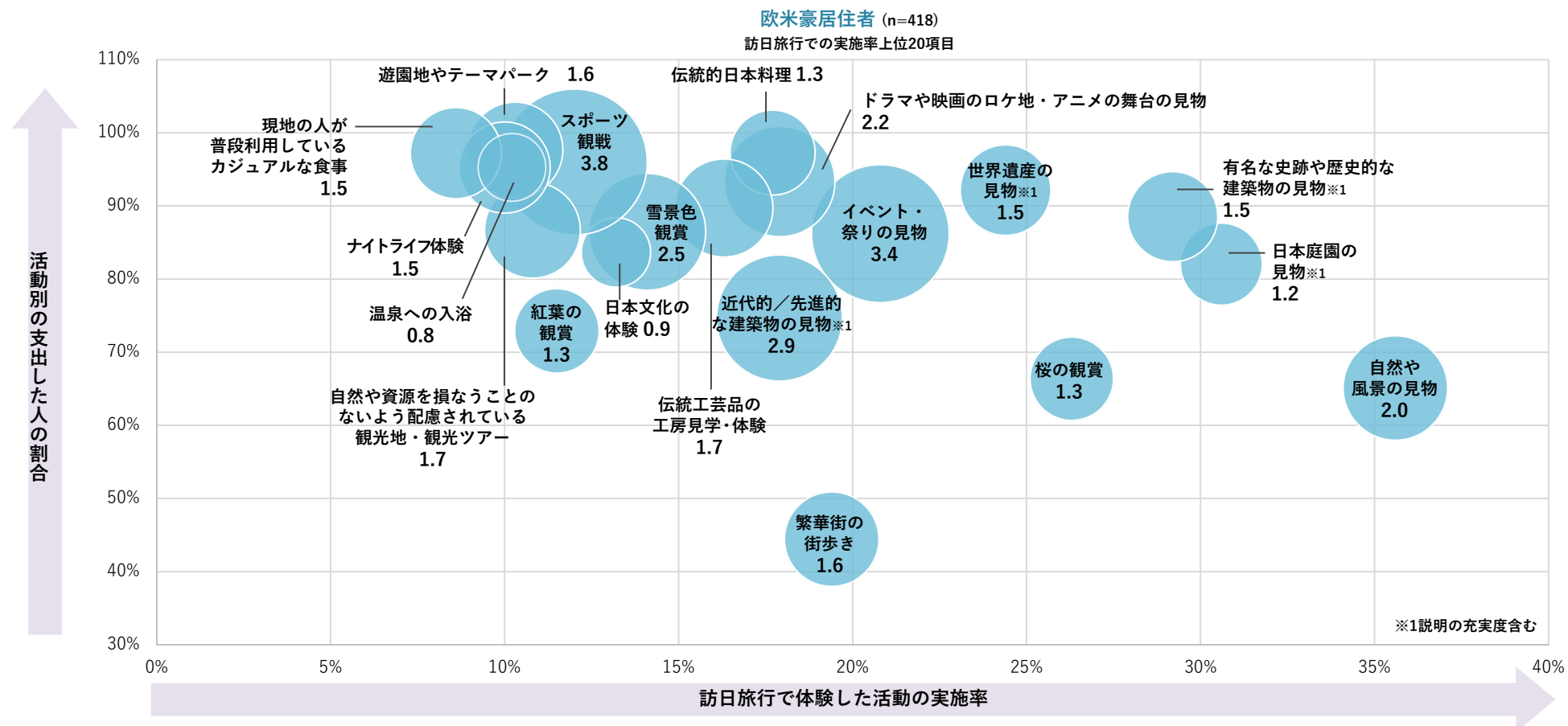
訪日経験者 | 訪日旅行で体験した活動の実施率（上位20位） × 支出した人の割合（活動別） × 支出した人が支払った金額※2の平均（活動別）



※2活動別にその活動を実施した場所で支払った金額を費目ごと（例：入場料、ガイド料、体験料、指定席料、飲食代、買い物代、レンタル料等）に回答してもらい、これらの合計金額を当該活動を実施するにあたり支払った金額とした（金額不明は除く）。

食事に関する活動は実施率は低いが、支出した人の割合が高い イベントに関する活動は実施率は低いが、支出した人が支払った金額は高い

訪日経験者 | 訪日旅行で体験した活動の実施率（上位20位）×支出した人の割合（活動別）×支出した人が支払った金額※2の平均（活動別）



※2活動別にその活動を実施した場所で支払った金額を費目ごと（例：入場料、ガイド料、体験料、指定席料、飲食代、買い物代、レンタル料等）に回答してもらい、これらの合計金額を当該活動を実施するにあたり支払った金額とした（金額不明は除く）。

3 | まとめ

1.日本人旅行者の動向・意識（まとめ）

1-1 国内旅行

- 旅行実施に対するコロナ禍の影響はほぼ解消
- 不安を感じない割合が大幅に増加するも、依然として半数は不安を感じている
- 旅行意向は高止まりの傾向、一方で「旅行への親しみ」が薄れている可能性も
- 最大の旅行動機「日常生活からの解放」はコロナ禍以前と比較して選択率が高い状態が継続
- 70代で「旅行に行きたくない」傾向強まる、10～20代で「これまで以上に行きたい」の割合も低下

1-2 海外旅行

- 旅行の実施に対するコロナ禍の影響は依然として残る
- 旅行の予定・検討段階の割合は徐々に高まりつつもいまだ低水準
- 旅行に行きたくない/実施を迷う理由は、全体では円安や物価高の影響が大きい一方で、年代別ではコロナの影響が残る

2.インバウンド市場の動向・意識（まとめ）

2-1 海外旅行の予定・検討状況

- 向こう1年の海外旅行の予定・検討状況は高水準
- 海外旅行はアジア、欧米豪ともに計画段階に

2-2 次に海外旅行したい国・地域

- 日本の人気は引き続き高く、トップを維持
- 一部の国で下降していた人気も回復

2-3 訪日旅行希望者・経験者の意向

- 日本の地方観光地への訪問意向は引き続き高水準
→地方部への来訪と長期滞在につなげる取り組みが求められる
- 訪日旅行時の支出の考え方と収入は連動していない
→旅行者にとって価値を感じるものやこだわりポイントへの出費は、収入水準にかかわらず期待できる